

# 第6回木質資源安定供給検討会 (令和7年度)

令和7年12月4日(木) 14時30分～  
タワーホール船堀  
2階 平安・福寿



認定特定非営利活動法人  
全国木材資源リサイクル協会連合会

# 次第

I 理事長挨拶

II 出席者紹介

III 議 題

1. 要望書に対する見解

2. 4省庁の施策について

3. 最近の木質バイオマスの需給動向について

(1) 各地域協会の実情

(2) 令和7年度木質バイオマスに係る調査結果について

・木質バイオマス需要調査

・木質チップ等生産会員実態調査

(3) F I T認定事業者取扱実績報告



## 要望書

2050年のカーボンニュートラルに向け、様々な分野で新たな取り組みが進んでいる。木材リサイクルの分野も、いかに脱炭素に取り組むかは大きな命題であり、事業活動におけるCO<sub>2</sub>排出量の可視化や削減を進めていく必要があり、この取り組みはユーザーからも強く求められている。また、再資源化事業等高度化法においても廃棄物の処理から良質な資源をいかに生み出すかが問われている。当連合会は木材リサイクルを通して、マテリアル原料とサーマル燃料の供給に取り組んでいる。しかし、これらの用途に加え、昨今、ケミカルという新たな分野への活用も課題となりつつある。木材資源の効果的な活用は、地球温暖化対策と循環型社会の構築という二つの課題の解決に深く関連する取り組みであり、国連の定めた「持続可能な開発目標（SDGs）」への貢献に通じる取り組みである。木質チップの関係団体で構成している当連合会として、木材リサイクル分野の脱炭素化と効果的な資源循環を着実に進めていかななくてはならない。

また、近年の大規模災害における木くずの処理については当連合会の会員がノウハウを生かして出来得る限りの資源化に努めてきたところであり、こうした災害対策の分野においても、持てる力を結集し、速やかな復旧復興に取り組んでいく所存である。令和6年の能登半島地震の支援については、実際に木材リサイクルを通して復興支援の取組を進めているところでもある。

近年ますます多様化する社会的要請に応えていくには、木材リサイクルの関係法令や諸制度の的確な見直しが必要不可欠となるであろう。特に、来年は廃掃法の見直しの年にあたる。

そこで、当連合会会員が社会的要請に応えていくために必要な事項について、ここに要望いたします。早期に実現できますよう、特段の配慮をお願い申し上げます。

令和7年7月30日

環境大臣 浅尾慶一郎 様  
農林水産大臣 小泉進次郎 様  
経済産業大臣 武藤 容治 様  
国土交通大臣 中野 洋昌 様

認定特定非営利活動法人  
全国木材資源リサイクル協会連合会  
理事長 藤枝 慎治

## 環境省

### 1. 廃棄物処理業における適正処理と脱炭素経営の推進

2050年のカーボンニュートラルに向けて、改正地球温暖化対策推進法が施行され、特定排出者である企業は温室効果ガス排出量の可視化が求められた。また、すべての企業において脱炭素化経営は必至であり、廃棄物処理業においても、持続可能な資源循環はもとより、適正処理とともに温室効果ガス排出量の削減が求められる。そのため、脱炭素化経営に取り組んでいる廃棄物処理業者へのすみ分けや委託が進むよう、次の基本的事柄について取り組みを願いたい。

#### (1) 排出事業者責任の徹底について

委託契約やマニフェスト発行の当事者である産業廃棄物排出事業者が基本的な処理基準、委託基準を理解していないことが多い。例えば、マニフェストを持参しない、記載事項漏れ、設計数量と実績量の乖離、委託契約なしの持ち込みなどの事例が後を絶たず、徹底が必要である。そのため、排出事業者が廃棄物処理法の知識や理解を深めて、的確に処理業務、委託業務を執行する担保として、法的資格を持つ者（例：産業廃棄物管理責任者）の配置の推奨と講習会受講制度を整備されたい。

#### (2) 小規模処理施設による不適正処理の排除について

処理量が一日5t未満の場合、廃棄物処理法による設置許可が不要であり、そうした小規模施設による廃棄物の不適正処理が見受けられ、適正なリサイクルを阻害する要因になっている。また、山間地域において、リース機械の移動式破砕機により許可なく現場破砕している例が見受けられる。環境負荷低減の観点からも、実態を把握するとともに監視を強化する等、不適正処理の撲滅に努められたい。

### 2. 災害時の復旧・復興の取組について

地震、超大型台風など自然災害の脅威が増しており、災害時には被災木の大量発生が想定される。復旧・復興を図るうえで、この災害被災木を迅速に処理する一方、資源としての有効活用が求められる。そのため、次のことを検討願いたい。

#### (1) 広域対応と関係業界が連携できる仕組みづくりを

被災地域においては、地域ごとに特有の課題があり、想定通りに復旧・復興が進まない現実がある。そうした課題を少しでも克服するため、地域ブロックを超えた広域対応と関係業界が連携できる柔軟な仕組みづくりを検討願いたい。

#### (2) 労働時間の上限規制に柔軟な対応を

災害時においては被災地の速やかな復旧・復興を目指し、あらゆる分野で昼夜を分かたず取り組んでいく必要がある。廃棄物の処理においても同様であり、一定期間に

おける労働時間の上限を超えての取組が必要な場合がある。その場合、労働者の健康に留意することは当然だが、労働時間の上限規制に柔軟な対応を願いたい。

### **(3) 災害被災木受入による一時的な売り上げ増に、税制面での対応を**

廃棄物処理業界は、早期の復旧・復興のため、通常の入入を制限しても処理能力の限界まで災害廃棄物の受入を優先する。このことは、一時期に搬入量が大幅に増えることにより売上げも大きく増加するが、これまでの取引企業との関係など中期的な経営計画に影響を及ぼすこととなる。その影響を少しでも緩和できるよう、災害時の一時的な売り上げ増による利益について、法人税の取扱いに関して一定期間の繰越を可能とするなど、税制面での柔軟な対応を検討願いたい。

### **(4) 災害廃棄物処理を進めるための資金繰りの支援**

災害廃棄物の処理経費は概ね国庫からの資金で賄われるが、実際に収入時期は年度末になり、その間の資金繰りの問題が生じる場合がある。つなぎ資金として民間金融機関からの借入れなどの必要が生じ、そのための保証や利息などの課題もある。こうした資金面の課題に対して負担が生じないように、検討願いたい。

### **(5) 災害廃棄物処理計画の策定と保管場所の確保**

災害被災木の円滑な処理のためには、自治体における災害廃棄物処理計画の策定が求められている。令和5年3月時点の市町村の策定率は80%と増加しており、取り組みの成果が表れている。その中で、災害廃棄物保管場所の確保は大切な要件であり、迅速な対応のためにもあらかじめ保管場所の候補地をリストアップするなど、最大限の運用を図られたい。

### **(6) 柱、はりの保管場所の長期間使用**

災害被災木のうち、柱、はりについては、材の性質上、マテリアル、サーマルなど様々な有効活用が可能である。そのためには、利用先の確保などの調整上、長期間使用できる保管場所の確保が求められる。そこで、飛散等の恐れが無い柱、はりを有効に活用するため、災害復興予算の柔軟な運用などにより長期間使用できる保管場所の確保を図られたい。

## **3. 業種の認定と外国人研修生の受け入れ**

### **(1) 廃棄物処理業の職業分類の確立**

外国人実習制度が育成就労制度に変わり、制度の目的が人材確保に変わった。但し、これは特定技能制度に連動する制度であり、この活用には業種の指定が不可欠で

ある。現状、産業廃棄物処理業は人手不足が課題となっているが、その他サービス業としての位置づけである。育成就労制度を活用するためには、新たに独立した業種として位置づけられることが不可欠である。現在、資源循環廃棄物処理業が職業分類の追加検討分野に入っており、その実現のために尽力願いたい。

## **(2) 労働安全衛生のノウハウ取得に支援を**

全ての業界において安全性の向上は最重要事項である。外国人研修生を受け入れる場合、産業廃棄物処理業界は他に比べて労働災害が多く、安全な処理知識と技術の向上は喫緊の課題である。特定技能制度の対象分野になるためには、そうした取り組みが不可欠である。そのため、労働安全衛生のノウハウの取得に努める業界の取り組みを支援願いたい。

## **4. 脱炭素化経営とコストアップへの対策**

カーボンニュートラルに向けて、プライム市場の上場企業はスコープ 3 までの CO<sub>2</sub> 排出量の把握が求められている。サプライチェーンに連なる資源循環業においても CO<sub>2</sub> 排出量の可視化は重要な課題となる。そこで、DX を活用した排出量の計算と削減計画、そして促進のために工場の電力を RE100 等に変えるなどの取り組みが求められる。これらはコストアップにつながるものであり、中小企業にとって大きな負担となる。脱炭素化を促進するための補助メニューや税制優遇制度などについて検討願いたい。

## **5. リチウムイオン電池の混入問題について**

リチウムイオン電池の混入による火災や発火事故が相次ぐ事態を受けて、環境省は市町村に対して適正処理の方針と対策について通知を出したところである。このことは、木くずを扱う当会の業務と直接の関連は少ないが、同じ廃棄物処理を業とする当会としても深い関心を持っている。こうした事故を未然に防ぐためにも、排出者への規制強化を図るなど、一層の対策強化を願いたい。

## **経済産業省**

### **1. 脱炭素化経営とコストアップへの対策**

カーボンニュートラルに向けて、プライム市場の上場企業はスコープ 3 までの CO<sub>2</sub> 排出量の把握が求められている。サプライチェーンに連なる資源循環業においても CO<sub>2</sub> 排出量の可視化は重要な課題となる。そこで、DX を活用した排出量の計算と削減計画、そして促進のために工場の電力を RE100 等に変えるなどの取り組みが求められる。こ

れらはコストアップにつながるものであり、中小企業にとって大きな負担となる。脱炭素化を促進するための補助メニューや税制優遇制度などについて検討願いたい。

## 農林水産省

### 1. 合板型枠の由来証明の確認について

合板型枠がグリーン購入法に位置づけられたことにより、版面表示により、一般木質バイオマスとして取り扱うことが明示されたところである。しかし、版面表示は一部分であり、また、廃棄間際の材であれば、老朽化による表示の消失等によりその他の合板型枠材との区別が困難で、さらにチップになれば合法木材か否か判別することは不可能である。また、栈木等の取扱いについても厳格な対応が求められる。そこで対象木材かどうか、また、再生可能エネルギー固定価格買取制度の趣旨に合致しているかどうか監視方法を確立するとともに、適正な取り扱いがされているのか評価方を確立願いたい。

### 2. 木質資源の地産地消の促進

2015年に国連が採択したSDGsの取組みが求められており、そのためエネルギー分野において大規模から分散化へと向かっていくことが考えられる。その際、要となるのが再生可能エネルギーであり、第5次エネルギー基本計画においてもベース電源として位置付けられた。中でも、木質バイオマスは太陽光や風力と比べて安定的なエネルギー供給を可能とする。

また、森林資源を対象として地域内エコシステムの構築に向けた報告書が公表されたが、未利用木材だけでなく廃木材の活用において適正処理とともに環境負荷の少ない取り組みが求められている。そこで、不法投棄の防止、遠距離運送によるCO<sub>2</sub>増加などを考慮し、木質資源の地産地消が実現できるような環境負荷の少ない活用システムの確立を図られたい。

## 国土交通省

### 1. 建設廃材の利用調整について

FIT・FIP制度を進めるにあたり、建設廃材系チップの既存利用者への流通が阻害されることのないよう、十分な配慮をするよう求められている。これまでの関係部局のご努力があり、建設廃材系チップを利用するにあたり、ガイドライン等により関係機関への調整の必要性が明記されるなど、既存事業者への影響はそれほど見られなくなった。しかし、建設廃材の新たな活用分野としてSAFなどのケミカル用途が検討されている。これらの動きが既存の利用に影響を及ぼさないよう、留意願いたい。

## **2. 分別可能な建設資材の開発等**

再資源化事業等高度化法において事業者は製品が廃棄物になった場合の分離を容易にする取り組みが求められている。しかし、新工法による木造住宅解体の場合、在来工法に比べて複合材の使用が多く、その分別が難しい。そのため、結果として廃棄物になる事例が多く発生している。そこで、循環型社会構築のため、今後建設工法や建設資材の開発・製造にあたり、分別リサイクルを前提とした工法や製品を開発するよう指導願いたい。

## **3. 災害廃棄物を船輸送するための岸壁の確保**

大規模災害時には一度に大量のチップが発生するためチップ受け入れ先の確保が広域になる場合がある。遠方への大量のチップ輸送は船での輸送になる。その場合、積み込み及び積み下ろしの岸壁の確保が必要となる。そこで、モーダルシフトの観点からも、あらかじめ関係する国や自治体が連携して、災害時に行政が所有している岸壁を速やかに使用できるような体制の構築を願いたい。

## 最近の木質バイオマスの需給動向について

—主に量の確保と価格対応—

### 【北日本木材資源リサイクル協会】

廃木材等の確保状況と処理価格の動向について（主に前年比）

地域全体では、確保状況について通年を通じて見ると大きな変化は見られない  
一部地域において、災害発生による処理により発生増となった地域があった。  
（新潟県）  
処理価格の変動も、地域全体においてほとんど見られないが、一部地域において処理  
価格が低い地域も見受けられる。（青森県・秋田県・福島県会津地域）

木質チップのマテリアル向け供給状況と販売価格の動向について（主に前年比）

ボード業界において一部品質基準を見直して増集荷に努めているところがある。製  
紙業界においては供給状況について大きな変化は見られない。全体に少なめに推移  
しているように思われる。現在、冬季間の品薄状況を踏まえて抱え込みを見せ始めて  
いる。  
販売価格は、燃料及び人件費高騰により輸送経費が値上がりしその分価格に反映さ  
れ値上がりしているが、引き続きメーカー側の製造原価を補う状況にはない。  
（人件費の高騰・物価高による）

木質チップのサーマル向け供給状況と販売価格の動向について（主に前年比）

円安の影響から、PKS、海外産ペレットの価格が値上がっている中、新たなボイラー  
稼働もあり、建設廃材木質チップの需要が高まっている。さらにこれから冬季にかけ  
て雪国特有の品薄状態になる為、抱え込み需要が増えている。マテリアル同様運搬経  
費が値上がりした分価格に反映され値上がり状況にあるが、メーカー側の製造原価  
を補う状況にはない。（人件費の高騰・物価高による）

FIT のバイオマス証明事業者認定状況について

2025 年度更新事業所 19 か所中 14 事業所更新、2 事業所更新予定、2 事業所未更新  
（認定事業所取りやめ）新規事業所 1 事業所、2025 年 12 月 1 日現在 27 事業所認定  
です。

## 【関東木材資源リサイクル協会】

廃木材等の確保状況と処理価格の動向について（主に前年比）

### 1 確保状況

- ◆ 令和7年4月～9月の廃木材等の入荷状況は、2会員増や能登半島地震の災害木くずの受入があり、前年比0.3%の増となっている。
- ◆ 入退会を除いた32社の同数比較では、前年比2.5%増となっている。
- ◆ 関東協会は、南関東地区、中関東地区、北関東地区の3つのエリアに分かれるが、上半期の実績は南関東で1.3%の増、中関東は1.7%の増、北関東は2社増えているにもかかわらず、2.5%の減であった。特に5月、6月に定修等が集中し、それぞれ6.7%、6.1%の減で他地区が増の中、影響が大きかった。

### 2 処理価格

- ◆ 人手不足や、諸経費の高騰により、価格改定の動きがある。

木質チップのマテリアル供給状況と販売価格の動向について（主に前年比）

### 1 確保状況

- ◆ 木質チップは、総じて確保されており、生産に支障を来すような状況にはなっていない。
- ◆ 今後の不安定な社会情勢を見越し、製紙・ボードともに国内チップの集荷を引き続き強化している。

### 2 販売価格

- ◆ 処理価格と同様の理由により、価格改定の動きがある。

木質チップのサーマル向け供給状況と販売価格の動向について（主に前年比）

### 1 供給状況

- ◆ 4月の建築基準法の改正により、住宅着工の減少が大きく、それに伴い建設廃材の発生も低調かつ不安定であり、入荷量や出荷量の増加にやや陰りがみられる。
- ◆ 能登半島地震の災害木くずの受入による処理量は約4,500tで、入荷量の増加に一定の効果があった。秋から年末まで長期にわたる定修がなく、冬場の供給が不安視される。

### 2 販売価格

- ◆ 処理価格と同様の理由により、価格改定の動きがある。

FITのバイオマス証明事業者認定状況について

- ◆ 2025年12月1日現在の認定事業者は、44事業所
- ◆ 令和7年度は、これまでに継続10事業所を認定。うち、GHG認定は継続で1事業所

## 【東海木材資源リサイクル協会】

廃木材等の確保状況と処理価格の動向について（主に前年比）

4月～9月の入荷量としては、前年比約110%と増量。要因としては震災材の受け入れにより増。

各社とも在庫状況は余力を残し年末を迎える見込み。

当協会員以外の同業他社が安価での引き受けによる、一時入荷減は多少見られたものの直近はさほどの影響はない模様。

処分価格については変化なし。

木質チップのマテリアル向け供給状況と販売価格の動向について（主に前年比）

2025年4月～9月のマテリアル出荷に関して、前年比110%増。

入荷量に応じて、マテリアル出荷が増えている現状。上期については納入先についても例年通りで大きな変化なし。

販売価格については前年比数百円/t上昇。

製紙会社の生産量減に伴い、チップ使用量減が予測されている状況。

木質チップのサーマル向け供給状況と販売価格の動向について（主に前年比）

2025年4月～9月のサーマル出荷に関して、前年比110%増。

入荷量増に応じ出荷量増。

上期期間については大口納入先のトラブルにより、燃料在庫が増量期間があったものの前年以上の出荷。

納入先については需要に対して十分に供給出来ている状況。

販売価格については変動なし。

FITのバイオマス証明事業者認定状況について

東海協会15会員のうち5会員（7拠点）取得済み

## 【近畿木材資源リサイクル協会】

廃木材等の確保状況と処理価格の動向について（主に前年比）

### 1. 確保状況（入荷状況）

廃材の入荷状況は、2023年是对前年比101%、2024年是对前年比102%、2025年は1～10月までの実績で対前年比104%となっています。

今年度の増加要因としては、能登半島の災害廃棄物処理協力分が入ってきたことによるものであり、年内は大阪万博の取り壊しにともなう廃材処理需要が見込めるものの、いずれも一時的な要因であり、年明け以降の廃材の発生は依然厳しい状況を予想しています。

### 2. 処理価格の動向

横這いで推移しています。

木質チップのマテリアル向け供給状況と販売価格の動向について（主に前年比）

### 1. 供給状況

廃材の発生は厳しい状況が続いていますが、現状のところ安定供給できています。

### 2. 販売価格の動向

チップ価格は製紙用・ボード用ともに原油価格高騰の影響で運送費の見直しが行われ、運送費を含めたチップ価格は上昇しましたが、現在は落ち着いています。

木質チップのサーマル向け供給状況と販売価格の動向について（主に前年比）

### 1. 供給状況

廃材の発生は、一時的な増加要因はありますが、厳しい状況が続いています。大手ユーザーのボイラーの定期点検もあり、現状のところ安定供給できていますが、円安の影響で石炭やPKS等の発電所の輸入燃料が高騰しており、木質チップを含めた国内材へ切り替えが進んでいます。今後の動向次第では、安定供給に支障が出る事態も考えられます。

### 2. 販売価格の動向

燃料チップの価格は前年並みで推移していますが、マテリアル向けと同様に原油価格高騰の影響で運送費見直しが行われ、運送費を含めたチップ価格は上昇しましたが、現在は落ち着いています。

FITのバイオマス証明事業者認定状況について

2025年11月1日現在の認定事業者数は、10社 延べ12件です。

## 【中四国木材資源リサイクル協会】

廃木材等の確保状況と処理価格の動向について（主に前年比）

- ・ **山陽**：昨年度と同様、廃材発生量はほぼ同じ、ランニングコストを考慮し値上げは心構えするが、廃材確保を優先し価格は据え置き、運搬コストは年々値上がり、今は現状維持の傾向が強い。
- （岡山）：戸建て着工の減少に伴い、解体工事も減少傾向。（前年比と同様）処理価格は変動なし。
- ・ **山陰**：解体件数は減少傾向で、廃木材等の確保は減少、処理価格も下落傾向である。
- ・ **四国**：昨年みられた解体工事件数は横ばい、もしくはやや減少傾向となり、処理価格も同様である。供給量が追いつかない一部の業者の中には、供給を加速するために処理価格を下げたものもあるが、ほとんどの業者が昨年から現状維持である。

木質チップのマテリアル向け供給状況と販売価格の動向について（主に前年比）

- ・ **山陽**：廃材パレット、解体工事、共に減少傾向が続き、販売価格は多少の値上はしたが価格は厳しい状況。輸送コストは値上がりし、今は現状維持の傾向が強い。暫定税率廃止で軽油が安くなるので、4月以降に期待したい。
- （岡山）：マテリアルチップは、減少した前年度と同様。価格変動は無し。
- ・ **山陰**：住宅も資材が非常に高くなり、又、建築確認も非常に難しくなり住宅も建たない。さらに高速道路（山陰道）も開通区間が増えて、生木のチップも非常に少なくなっている。販売単価は昨年と変わらず、今後の見通しがどうなるのか予測がつかない。
- ・ **四国**：供給状況、販売価格ともに横ばいである。また動向は依然として不透明である。

木質チップのサーマル向け供給状況と販売価格の動向について（主に前年比）

- ・ **山陽**：需給が逼迫しており、燃料チップの集荷が非常に困難(特に建廃系)な状況は続き、バイオマス発電所は稼働を制限(出力低下)し、操業している。大型バイオマス発電所は、燃料チップの動向がわからないから、厳しい状況が続いている。FIT・FIP制度の満期を迎える発電所の今後の活動を期待したい。
- （岡山）：供給量減少。価格変動無し。
- ・ **山陰**：先述のとおり少なくなり、品質も悪いので、ほとんどがバイオマスの燃料になっている。価格も下がり始めている。
- ・ **四国**：先述のとおり全般的な需要供給ともにほぼ横ばいであり、サーマルに向けたものも同様である。今後の動向についても同様に不透明である。

FIT のバイオマス証明事業者認定状況について

- ・ **認定事業者 3 社**
  - ①（鳥取県 1 社：認定：令和 6 年 3 月 1 日）
  - ②（徳島県 1 社：認定：令和 4 年 12 月 1 日）
  - ③（岡山県 1 社：認定：令和 6 年 1 月 1 日）

## 【九州木材資源リサイクル協会】

廃木材等の確保状況と処理価格の動向について（主に前年比）

廃木材の確保状況は、横ばいもしくは微減。  
夏場は猛暑の影響で解体工事の仕事効率が落ち、伴って廃木材の発生も減少した。  
熊本地区の震災の影響による解体案件が少ない状況は引続き変わっていない。  
パレット関係の発生も減少している。  
処理価格に関しては基本変動が無いが、一部地域で値下げ競争が起きている。

木質チップのマテリアル向け供給状況と販売価格の動向について（主に前年比）

マテリアル向けのチップ供給状況は、製品の販売状況が相変わらず良くなく、生産調整等で減少傾向にあるため安定して供給できている。  
チップ販売価格に関しては、前年の値上げ以降横ばいで推移している。

木質チップのサーマル向け供給状況と販売価格の動向について（主に前年比）

サーマル向けのチップ供給状況は、増加傾向にある。要因としては、既存ボイラーの建廃チップ使用量の増加である。また、新規ボイラーの検討やチップ専焼に切り替える等今後も需要が加速されることが予測される。  
  
チップ販売価格に関しては、現在横ばいで推移しているが、今後チップがタイトになってくると予測され、価格も上昇すると思われる。

FIT のバイオマス証明事業者認定状況について

2025年12月1日現在  
13社22事業所(内GHG認定1社2事業所)

# 令和7年度 木質バイオマス需要調査結果

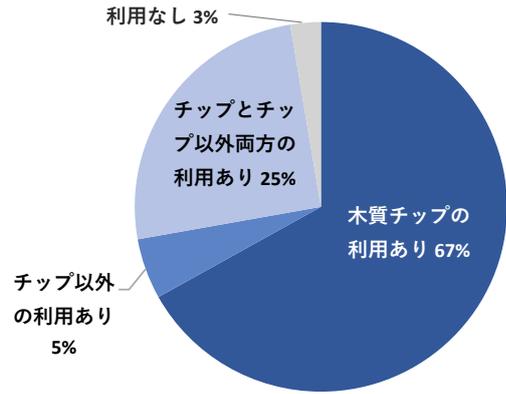
本年度の「木質バイオマス需要調査」を実施しましたので、集計結果を報告いたします。

1. 調査期間 令和7年7月24日(木)～8月29日(金)
2. 調査対象 全国の木質チップ等需要施設 全227か所  
うち製紙会社40所、ボード会社21か所、電力会社122か所、セメント会社11か所、その他33か所
3. 調査方法 郵便またはメールで調査票を配布
4. 回答状況 回答数:151 回答率:66.5% (昨年度は231か所調査、158件回答)

## 設問1 木質チップ、チップ以外の木質バイオマス(PKSやペレット等)の利用について (回答数:151)

木質チップの利用あり	101
チップ以外の木質バイオマスの利用あり	8
チップとチップ以外両方の利用あり	38
利用なし(バイオマスボイラー廃止含む)	4
回答数	151

木質チップ、チップ以外 (PKS・ペレット等) の利用割合



### 【利用あり事業所の用途の区分】

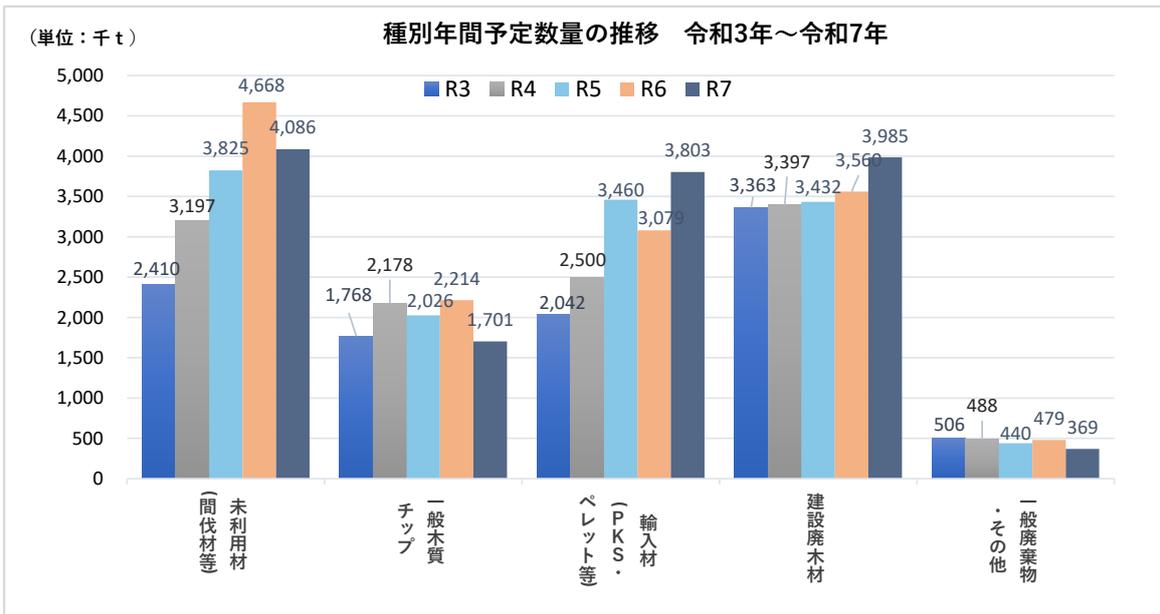
マテリアル	マ・サ両方	サーマル	合計
8	16	123	147

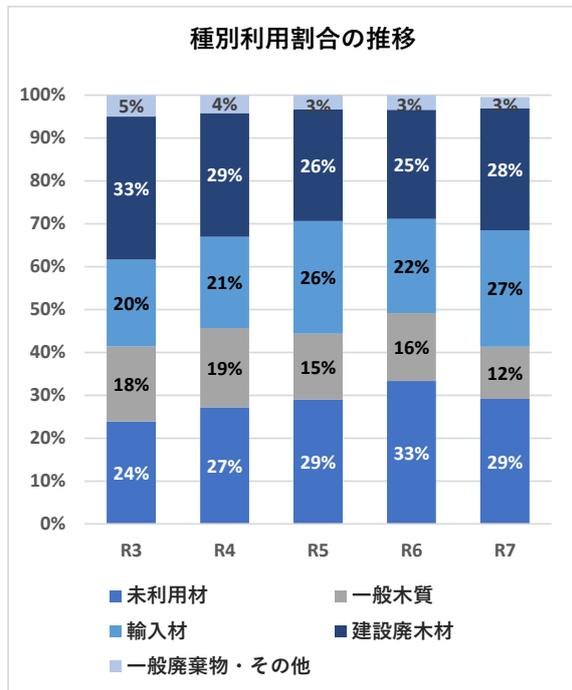
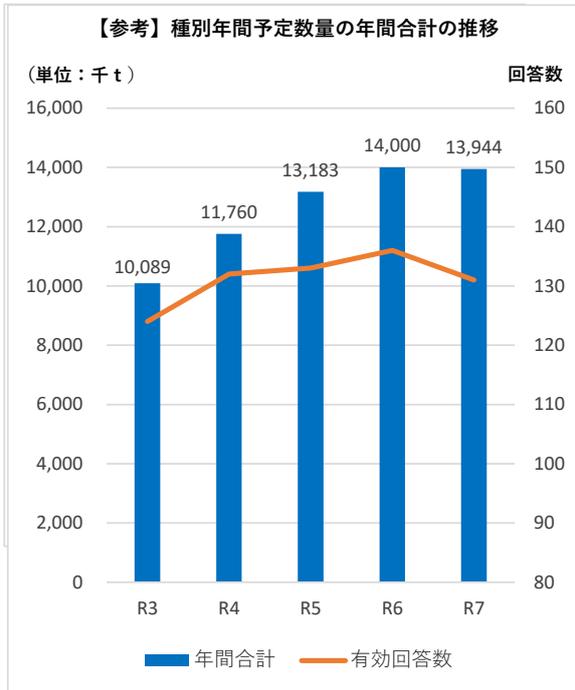
※以下、「マ・サ両方」はマテリアルとサーマルの両方を運用している事業所の意

## 設問2 木質チップ等のサーマル利用を行っている事業所の年間予定数量とその割合 (回答数:131)

サーマル利用の種別年間予定数量 単位:t ( )内は前年比

未利用材チップ(間伐材等)	4,085,955	(-12.5%)
一般木質チップ	1,700,638	(-23.2%)
輸入材(PKS・ペレット・チップ等)	3,802,877	(+23.5%)
建設廃木材(リサイクル材)	3,985,485	(+11.9%)
一般廃棄物・その他	369,459	(-22.8%)
合計	13,944,413	(-0.4%)





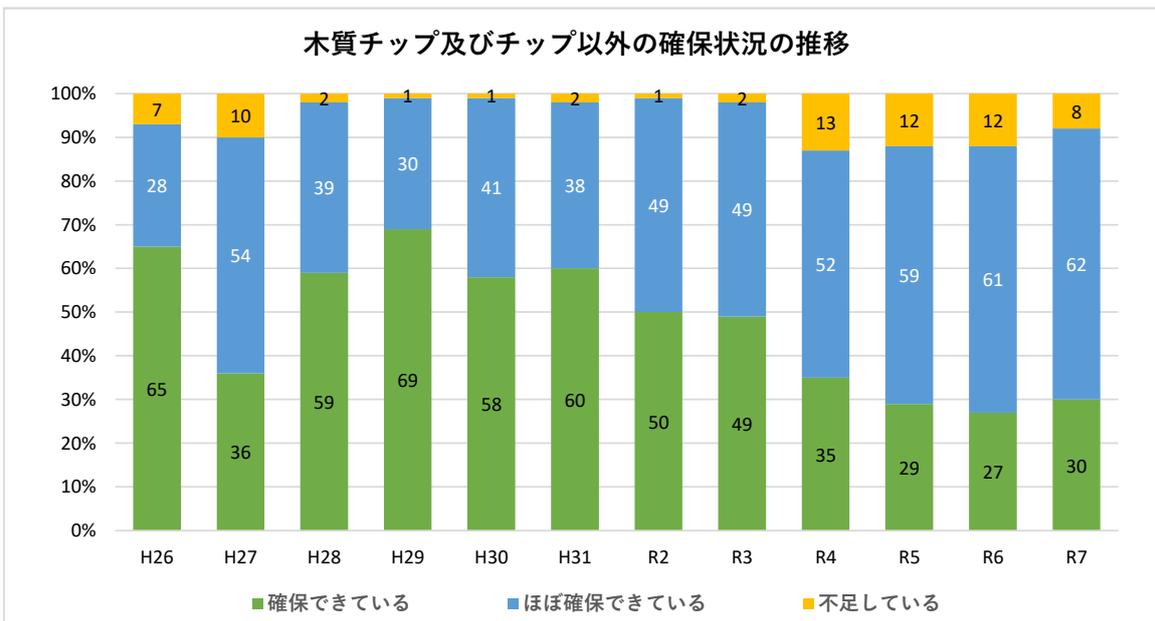
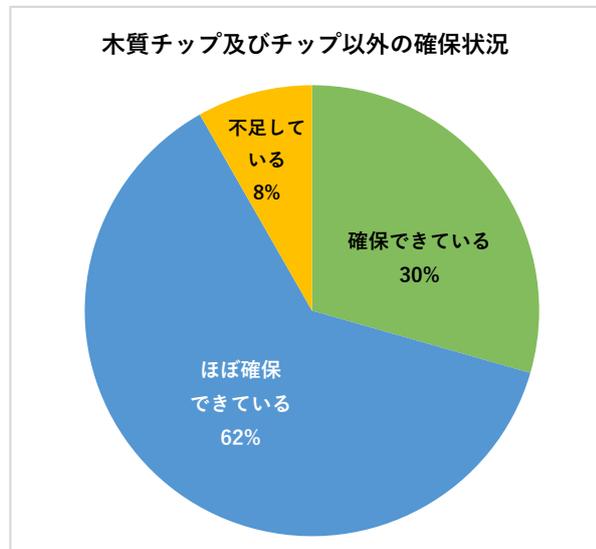
**設問3 木質チップ及びチップ以外(PKSやペレット等)の確保状況について (回答数:146)**

**木質チップ及びチップ以外の確保状況**

確保できている	43
ほぼ確保できている	91
不足している	12
回答数	146

**用途別の確保状況**

	確保できている	ほぼ確保できている	不足している
マテリアル	1	7	0
マ・サ両方	2	13	1
サーマル	40	71	11
合計	43	91	12



設問3で「不足している」と回答した事業所で、月にどのくらい不足しているか（過去6か月の平均値）

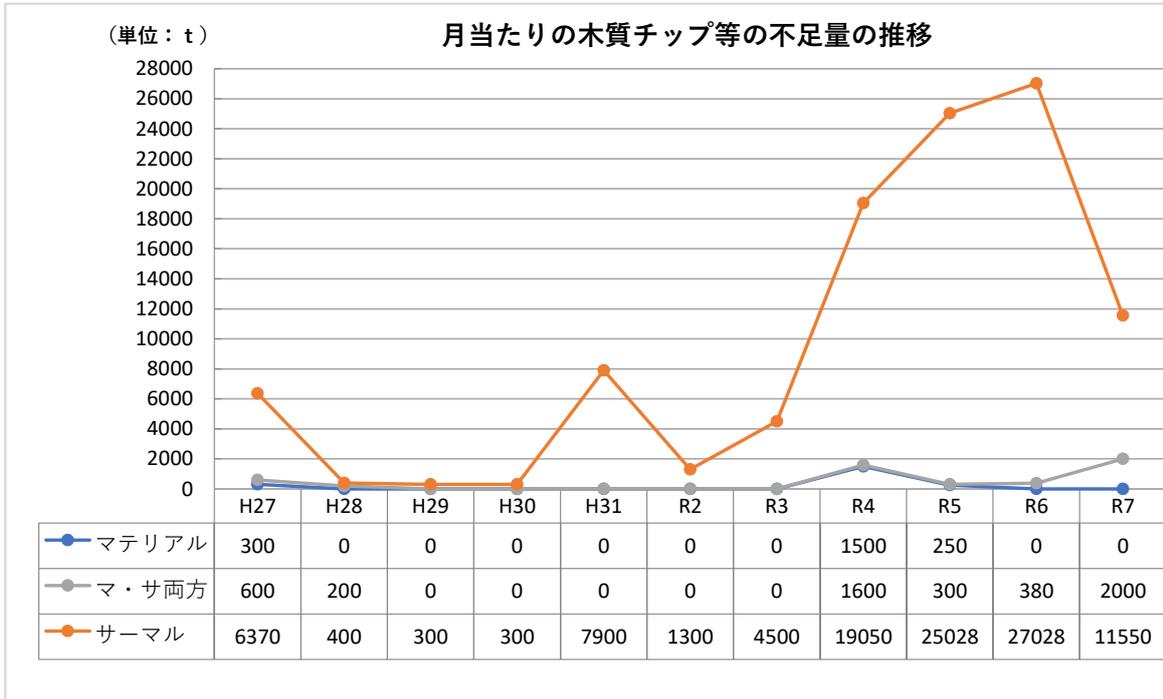
不足量の有効回答数

マテリアル	0
マ・サ両方	1
サーマル	11
合計	12

月当たりの不足量総計

単位: t

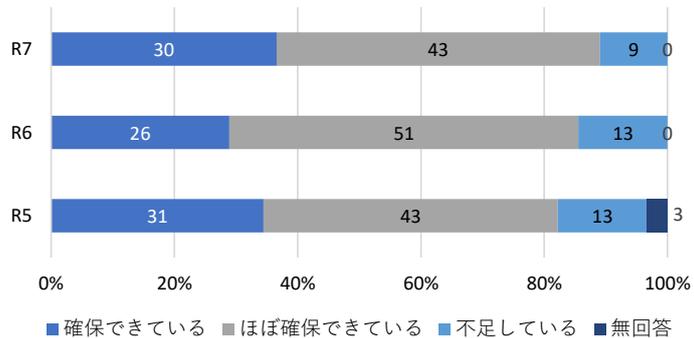
マテリアル	0
マ・サ両方	2000
サーマル	11,550
合計	13,550



サーマル利用の事業所のうち、「売電」用途事業所の木質チップ等の確保状況

サーマル利用で「売電」用途の事業所の有効回答数	82
うち、確保できている	30
うち、ほぼ確保できている	43
うち、不足している	9
無回答	0

売電用途事業所の確保状況の推移



※ 売電用途には熱供給用途・自家発電用途との兼用含む。

月当たりの不足量を地域別にみた場合

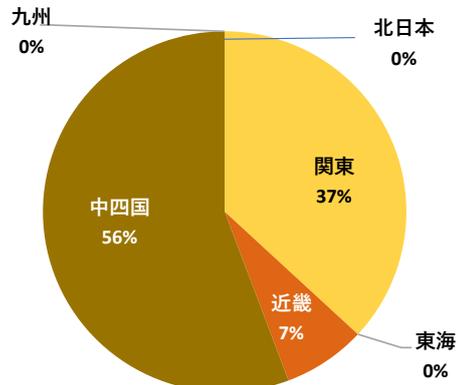
全国を6ブロックに分けて集計

※地域分類は当連合会の基準による(本報告書のP6参照)

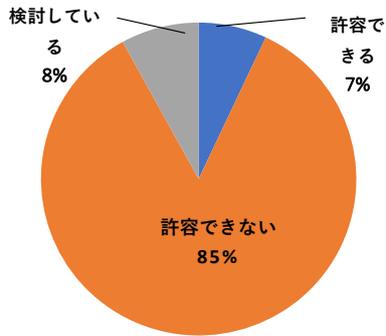
(単位: t)

北日本	0
関東	5,000
東海	0
近畿	1,000
中四国	7,550
九州	0
合計	13,550

不足量全体に占める地域別割合

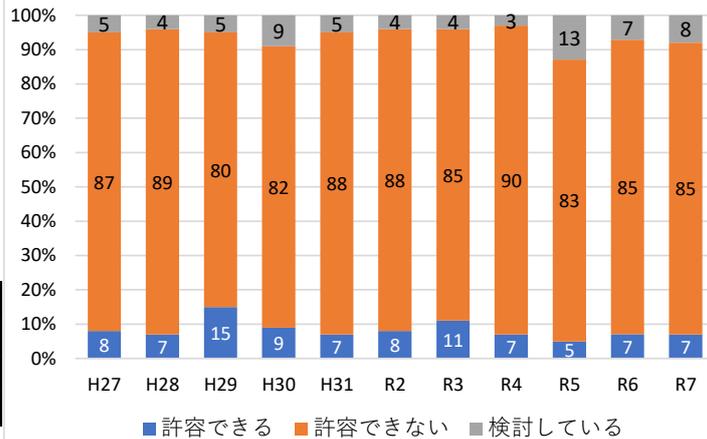


設問4 燃料利用の場合、木質以外のバイオマス資源(畳や草等)の混合について (回答数 137)



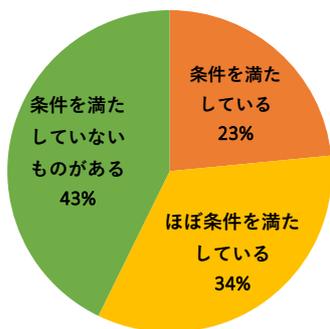
許容できる	10
許容できない	116
検討している	11
合計	137

木質以外のバイオマス資源の混合(燃料利用)



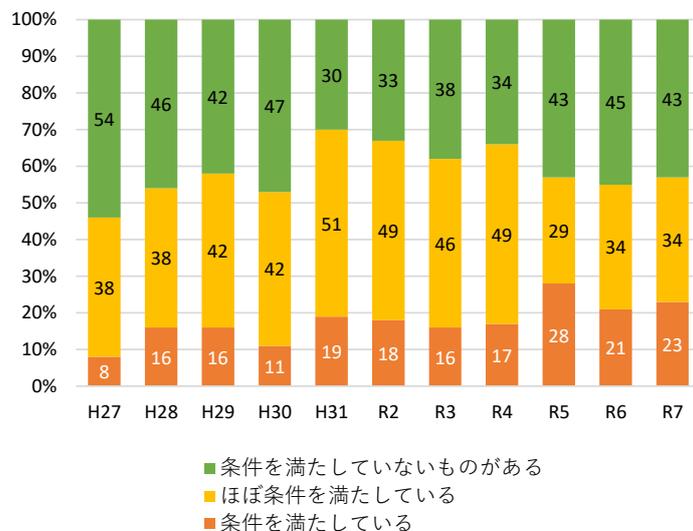
設問5 木質チップ、チップ以外(PKS・ペレット等)の品質規格について (回答数 145)

(回答数 145)



	条件を満たしている	ほぼ条件を満たしている	条件を満たしていないものがある
マテリアル	5	3	0
マ・サ両方	1	6	9
サーマル	28	40	53
合計	34	49	62

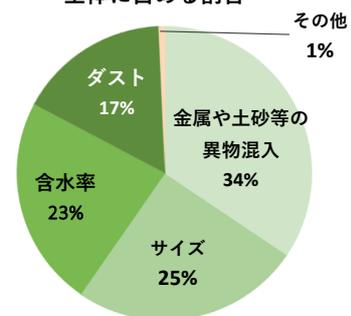
品質規格の条件を満たしているか



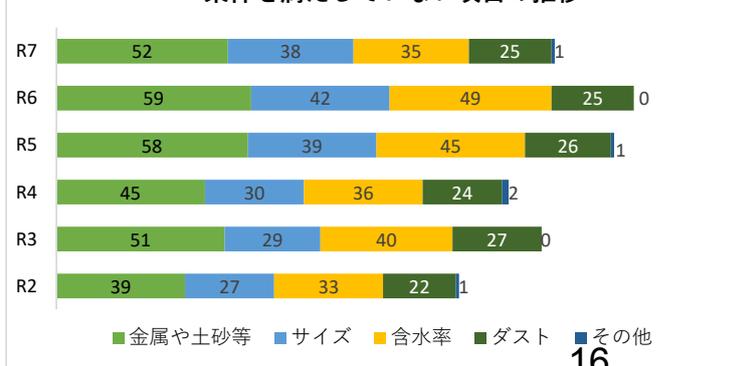
「条件を満たしていないものがある」と回答した場合の、満たしていない項目 (複数選択可)

	金属や土砂等の異物混入	サイズ	含水率	ダスト	その他
マテリアル	0	0	0	0	0
マ・サ両方	9	5	1	5	0
サーマル	43	33	34	20	1
合計	52	38	35	25	1

条件を満たしていない項目の全体に占める割合

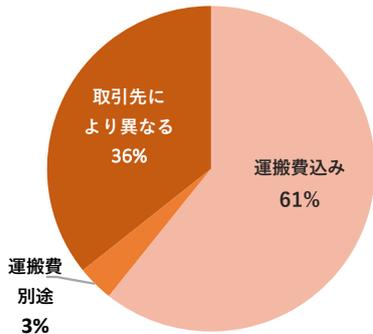


条件を満たしていない項目の推移 単位: 件数

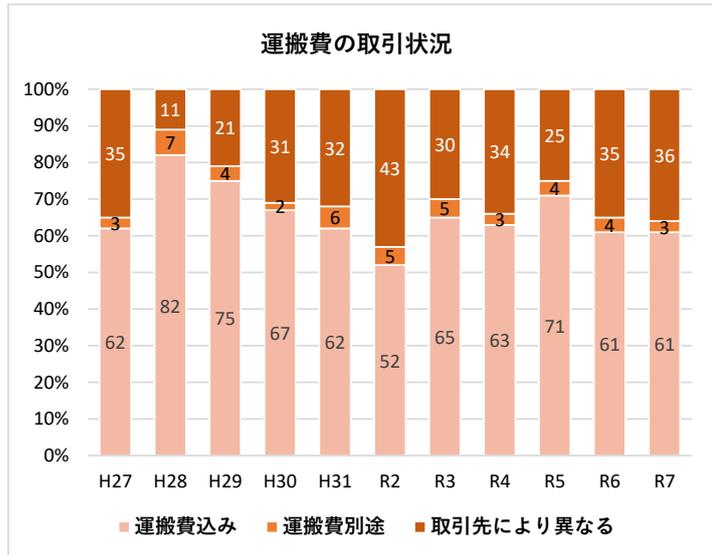


設問6 運搬費の現在の取引条件について

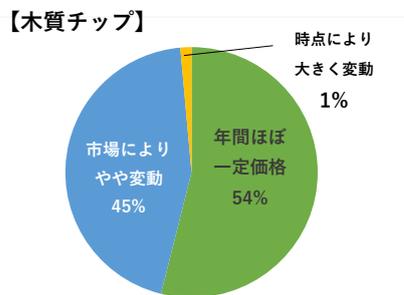
(回答数 140)



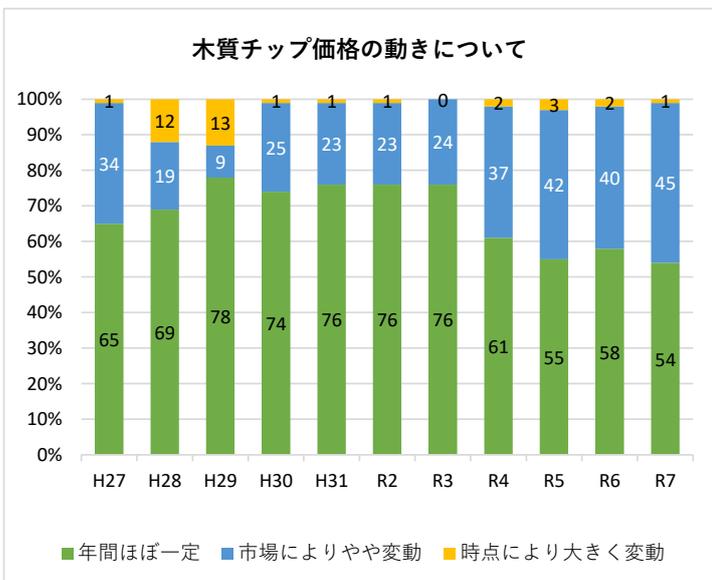
	運搬費込み	運搬費別途	取引先により異なる
マテリアル	1	0	7
マ・サ両方	5	2	9
サーマル	79	3	34
合計	85	5	50



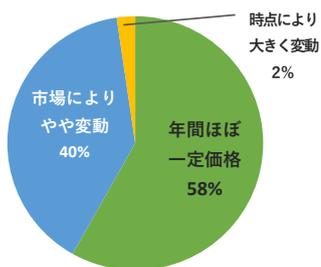
設問7 木質チップ及びチップ以外(PKSやペレット等)の価格の動きについて (回答数 141)



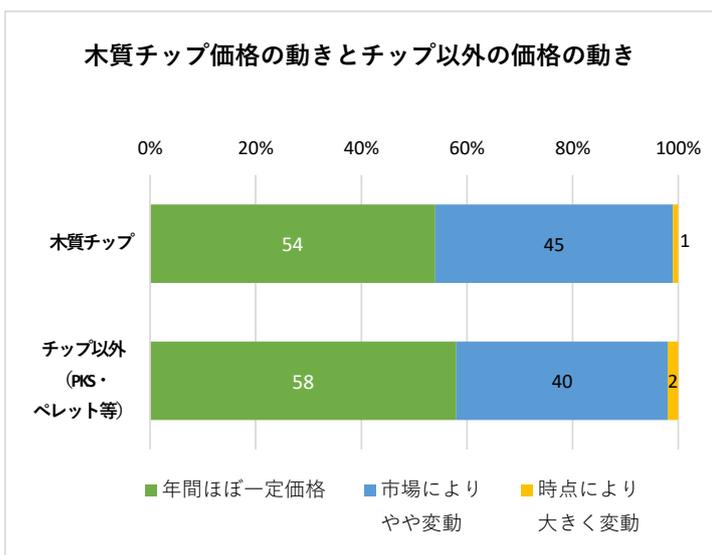
	年間ほぼ一定価格	市場によりやや変動	時点により大きく変動
マテリアル	0	8	0
マ・サ両方	6	10	0
サーマル	70	45	2
合計	76	63	2



【チップ以外 (PKS・ペレット等)】



	年間ほぼ一定価格	市場によりやや変動	時点により大きく変動
マテリアル	0	0	0
マ・サ両方	0	1	0
サーマル	25	16	1
合計	25	17	1



## 【地域別集計結果】

### 全国を6ブロックに分けて集計 (地域分類は当連合会の基準による)

北日本…北海道・青森・岩手・秋田・宮城・山形・福島・新潟

関東…栃木・群馬・茨城・埼玉・千葉・東京・神奈川・山梨・長野

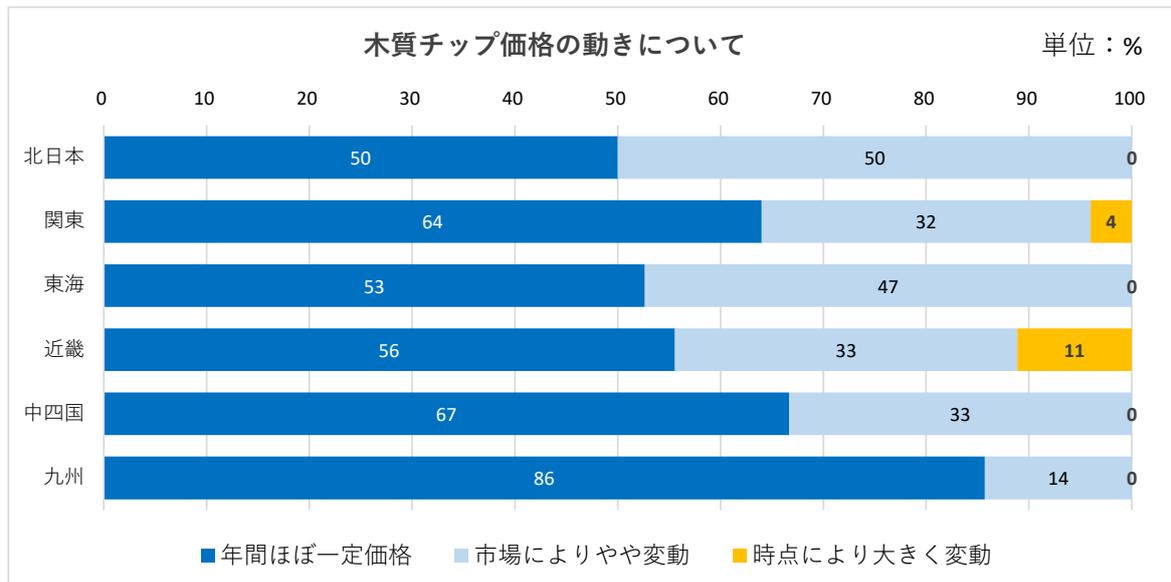
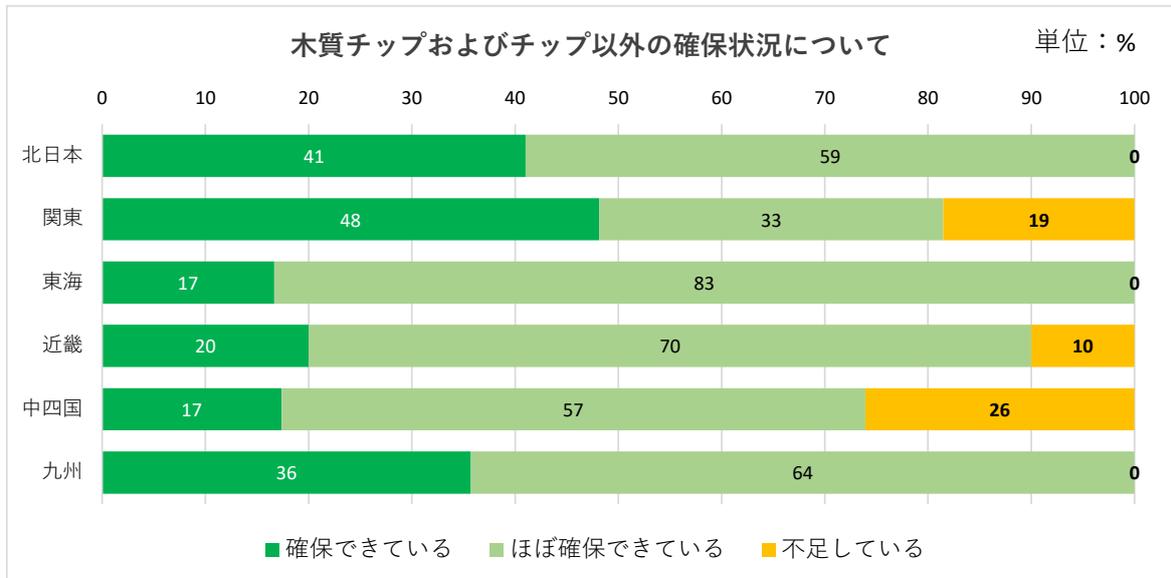
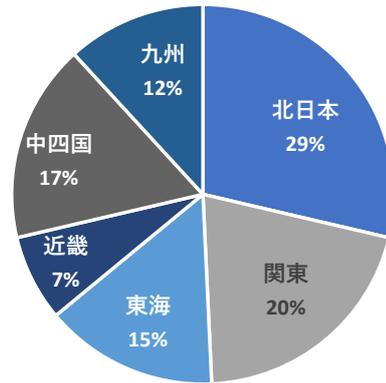
東海…静岡・愛知・三重・岐阜・富山・石川・福井

近畿…滋賀・京都・兵庫・奈良・大阪・和歌山

中四国…鳥取・岡山・島根・広島・山口・香川・徳島・愛媛・高知

九州…福岡・大分・佐賀・長崎・宮崎・熊本・鹿児島・沖縄

### 地域別回答事業所割合



## 供給者へのご意見・ご要望

### 【金属・土砂・石等の異物混入】

- ・非鉄金属(アルミニウム)と土砂の燃料への混入を減らしてほしい。
- ・異物混入防止……極力異物をなくしてほしい。
- ・金属類や石等の異物の除去(破砕機故障の原因になるため)。
- ・破砕機にダメージを与える金属、石材等の混入防止。
- ・ストーカの焼損の原因となっているアルミ等の金属異物除去強化。
- ・異物混入に注意願いたい。
- ・異物除去の強化とチップの安定供給をお願いしたい。
- ・発電用燃料価格の上昇は続いているが、品質は下がっている。異物除去(砂・石・金属など)、水分管理(保管・調整)、オーバーサイズの選別など徹底してほしい。
- ・主に建築廃材、解体材の木質チップをボイラー燃料に使用しており、金属くず等の異物混入が多い。ボイラーの炉内損傷の原因となるため、異物混入防止対策をお願いしたい。
- ・マテリアルにおいては異物・金属類混入対策強化の実施を。
- ・建廃材由来のチップに樹脂製のものや布状の異物が混入するケースが増えてきているので、減らしていただきたい。
- ・可能な限り、金属や石、プラスチック等の異物混入を低減してほしい
- ・ビニル・プラスチック類の混入は塩素腐食を起こすので、やめていただきたい。
- ・廃木材由来木質燃料チップの異物混入防止策にご尽力いただいていると感じておりますが、特に非鉄物の混入が多く発生しており、搬送系など設備へのダメージが懸念される。磁選機で取り除くことが難しく、難題ではありますが、混入防止にご協力願いたい。
- ・集荷環境が厳しいなか安定供給いただき、助かっております。原料系チップに、非鉄金属、プラスチック類の混入、燃料系チップに、土砂・ガラ異物の混入が増加傾向、製品品質や燃え殻処分費用の上昇につながっており、品質管理の徹底をお願いいたします。

### 【含水率・サイズ・ダスト等】

- ・異物、オーバーサイズの混入の低減をお願いします。
- ・オーバーサイズ(30cm超)の木片混入があり、危うくコンベアが破損、ボイラーが停止する事態となったので、受入および出荷前後の品質管理徹底をお願いしたい。
- ・天候(雨・雪)により、含水率の高いチップが納入されるため、ボイラーの燃焼効率が落ちる。
- ・年々品質が悪化しており、特に異物(金属・石等)の混入、オーバーサイズの混入が目立つ。品質の安定・向上をお願いしたい。
- ・木質チップの品質向上。規格外サイズ、金属異物の混入、ダストの多量混入、水分過多は避けていただきたく品質管理維持をよろしく願いいたします。
- ・異物混入、オーバーサイズともに以前よりは減少しましたが、皆無ではない。引き続き品質管理を徹底してほしい。
- ・異物(金属・土砂)混入の低減化、供給チップの含水率の低減化、及び供給量の安定化を要望。
- ・ボイラで燃焼するため、含水率が低く、異物の少ないチップを納入いただきたい。
- ・需給環境が悪化している中、材の確保には苦勞されていることは理解しているが、引き続き品質管理(特に水分率管理)と価格維持に努めていただきたい。
- ・水分率の安定化、チップサイズの適正化及び異物混入削減を通じて、品質改善をお願いしたい。
- ・異物混入防止、水分対策に努めていただきたい。

### 【灰・燃え殻・ばいじん等】

- ・金属の異物が入ると灰の利活用に問題が生じるので、選別を強化してほしいです。
- ・砂・異物混入により、ばいじん・燃え殻が増加している。
- ・ボイラ燃焼時の灰発生量や硫酸化物の発生量を抑えるため、チップ中の灰分および硫黄分等の成分が少ないチップを納入いただきたい。
- ・サーマルにおいては砂混入による燃え殻の増加あり。
- ・最近、燃焼灰の発生量が増加傾向となっています。土砂の混入が増えていることが原因の1つと推定していますが、土砂混入が増える要因は何が考えられるでしょうか。その他に燃焼灰の発生量が増加する原因は考えられるでしょうか。また、この増加傾向は今後も継続するでしょうか。
- ・砂異物が多く、灰の処分費が増えているので、燃料チップの消費数量を抑えて運転している。品質の維持、向上を要望いたします。

## 【安定供給・価格・その他】

- ・年間を通して、安定的な原木、チップの供給をお願いしたい。
- ・安定供給をお願いします。
- ・納入量のコントロール……使用量の増減が大きく、また社内では在庫スペースが狭く置ききれない。逆に不足の時もある。納入量の増減に対応していただけると助かる。
- ・現在のところ、地域内の間伐材及び森林計画由来の未利用材、国有林からの搬出材があり、チップ供給も順当に展開できているが、地域の森林の林齢が高くなり、70年以上の山が多くなると、間伐等への助成金が見つかず、山を整備する事業を進められる事業者がなくなってしまうのではないかと危惧しています。
- ・木くずの質や価格の安定化をお願いしたい。
- ・安定稼働のための物量確保並びに品質向上をお願いいたします。
- ・原木(丸太)の取り合いが散見されるなか、適正な使用量を念頭に買い占めのようなことは避けてもらいたい。また、新規調達場所(山)確保に向けて、連携よく対応してもらいたい。
- ・近隣にバイオマス発電所が増えて、原木(未利用材)の確保が難しくなってきている。
- ・今後の建築廃材、解体材、一般木質チップの供給についての情報提供。
- ・安価材料の安定的な供給。
- ・建築廃材の減少化の中、チップ業者様の安定的な納入に感謝しています。業界として現在LCAを調査中です。納入業者様にも、今後CO2削減に対するいろいろな協力の程、お願いします。
- ・近年、燃料チップの価格の上昇により、予算の見直しや使用量の制限も余儀なくされるケースが増えている。そのため、価格変動が激しいことで、先の見通しが立てにくく、契約や計画に支障が出ている。安定的な品質並びに価格を目指していただきたい。
- ・品質の安定化として、天候に左右されないストックヤードの整備や異物混入防止などの品質管理が重要と考えます。
- ・年間を通して安定的なチップの供給。

## 連合会へのご意見・ご要望

### 【異物混入防止・品質向上】

- ・供給者に対して、品質の安定・向上のための指導等をお願いしたい。
- ・同封されていた昨年のアンケート結果でも、品質改善に関する要望が多数上がっていた。使用側の要望が供給者へ伝わり、改善に繋がる仕組みづくりや取組みをお願いしたい。
- ・発見された異物、またはトラブル内容の共有ができれば、事前対策としても役立つ可能性を感じます。
- ・建築廃材のチップのせい、木質以外の異物が多いので、極力取り除いてほしい。
- ・生産者の方々へ品質管理の指導、リサイクルチップ品質基準の共有化をお願いいたします。

## 【安定供給・価格・その他】

・大型発電所の国産材使用率上昇、既存発電所のバイオマス混焼により、チップ需要が地域の産出量を超える状態になっていると見受けられる。連合会として現状の把握と需給安定化へ向けた提言を行っていただきたい。

・燃料調達に関して需要のタイト感が続いており、集荷エリアでの競合や原木価格の上昇、燃料材不足など安定調達に不安がある。

・木質廃材が減少している中、木質バイオマスやSAF(バイオエタノール)への用途が広がっており、リサイクルの優等生であるマテリアル利用パーティクルボードの材料の確保が厳しくなってきております。マテリアル優先でのカスケード利用の協力をお願いします。

## 【FIT・FIP制度】

・燃料価格とFIT・FIPが連動するよう、コストインパクトで吸収できる仕組みになってほしい。

## 【情報提供】

・今後、原料チップの減少が予想されるなかで、木質バイオマス設備に燃料として流れやすい状況にある。燃やしてCO2を排出してもカウントしない矛盾した政策を推し進めるのではなく、CO2固定化に寄与しているボードメーカーを優遇すべき。

・調査結果はいつも参考にさせていただいております。

・森林計画と整合性をとった伐採計画、植林を進めてもらいたい。

・燃え殻やばいじんなどの産廃を有効利用できないか。

・アンケートで、木質以外のバイオマス資源(畳や草等)とありますが、シリカを多く含むものはクリンカの原因にもなるので、弊社では遠慮したいところです。

・引き続き、調査結果を関係各所へ情報共有してほしい。

・年々、住宅着工棟数が減少しており廃木材発生量も同様に減少が続いているなか、脱炭素や環境貢献の観点からバイオマス事業に参画する企業が増え、需要が増え続けている。需要と供給のバランスを取る旗振りのな役割を期待したい。

・中長期的な燃料チップの発生、需要家の消費予測をグラフ化してほしい。

・連合会から需要家に向けて、ご意見やご要望を賜り、相互理解を深めたい。

・アンケート集計結果(意見・要望)を具体的にどのように反映したか、御報告いただきたい。

・物流効率化法の施行に伴う各社への影響を取りまとめていただきたい。

・発電所の故障など、需要者の事情により、木質チップの受入を調整せざるを得ない状況になることが今後もあるかと思えます。連合会の方で協会員共通のチップヤードの保有をご検討いただきたく存じます。

・今後の建築廃材の推移を知りたい。

## 令和7年度木質チップ等生産会員実態調査結果

地域協会別取扱量【出荷量】令和6年4月～7年3月

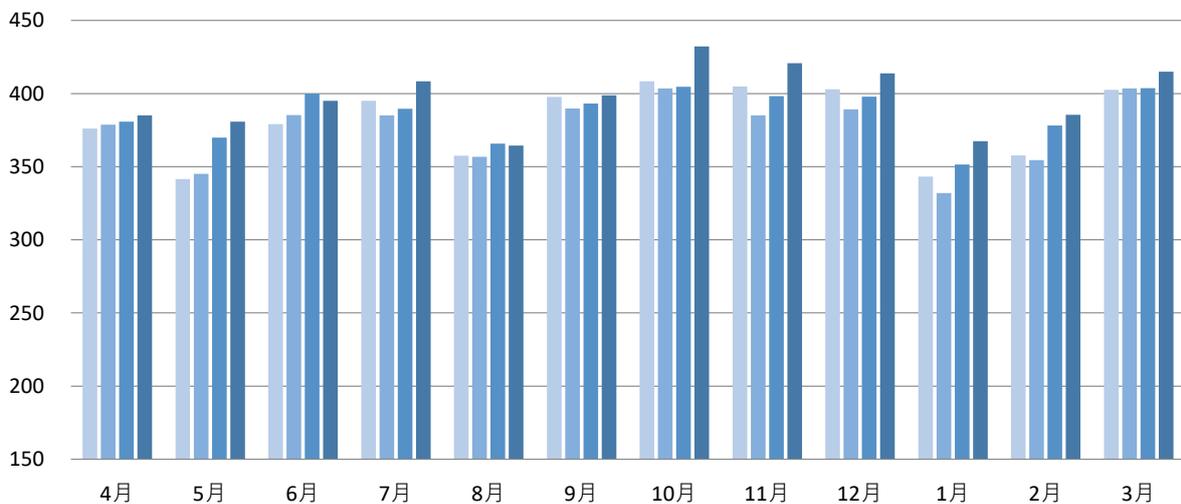
単位:千t(前年比)

	北日本協会 54社	関東協会 69社	東海協会 14社	近畿協会 10社	中四国協会 21社	九州協会 6社	合計 174社
4月	61.0	182.7	56.2	43.0	11.6	30.5	385.0 (+1.6%)
5月	63.1	176.6	58.1	41.3	11.9	29.7	380.8 (+10.4%)
6月	60.3	186.0	59.6	43.7	13.3	32.2	395 (+2.5%)
7月	66.4	191.5	61.3	42.2	15.1	31.8	408.4 (+6.1%)
8月	59.6	171.0	56.3	36.5	11.5	29.7	364.5 (+2.2%)
9月	60.2	190.1	63.7	39.2	13.5	31.9	398.7 (+2.3%)
10月	58.2	213.3	66.0	44.9	17.1	32.8	432.2 (+7.1%)
11月	63.7	201.8	62.1	44.3	15.6	33.3	420.8 (+9.3%)
12月	66.4	196.6	59.2	42.1	15.2	34.3	413.9 (+6.4%)
1月	53.0	176.5	57.2	37.7	11.8	31.3	367.5 (+10.7%)
2月	59.8	180.5	57.3	40.6	16.2	31.2	385.6 (+8.8%)
3月	58.2	194.6	65.4	46.6	18.0	32.1	415.0(+2.8%)
合計	729.8	2,261.3	722.6	502.1	170.7	380.7	4767.2 (+5.7%)

直近4か年の月別取扱量【出荷量】の推移

単位:千t

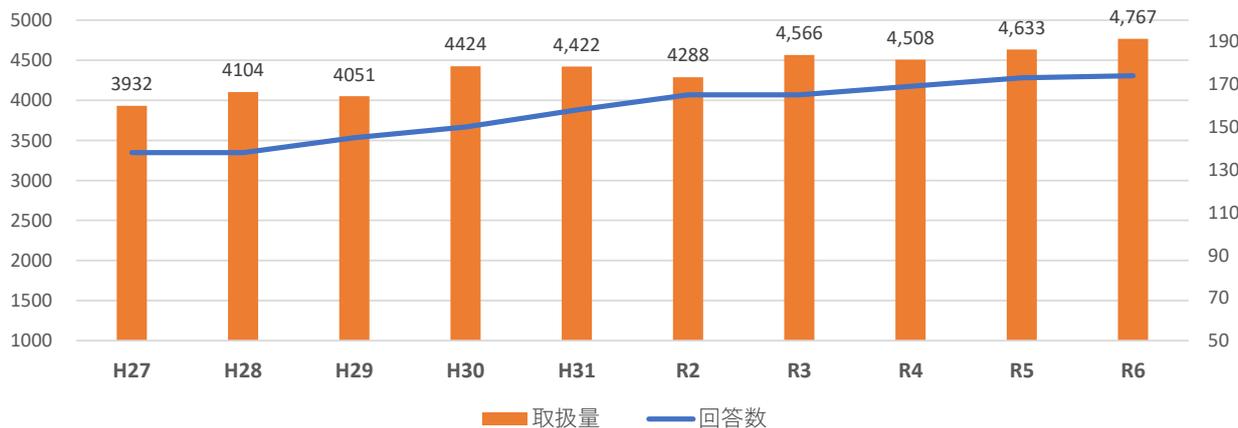
■ R3 ■ R4 ■ R5 ■ R6



単位:千t

年間取扱量【出荷量】の推移

回答数



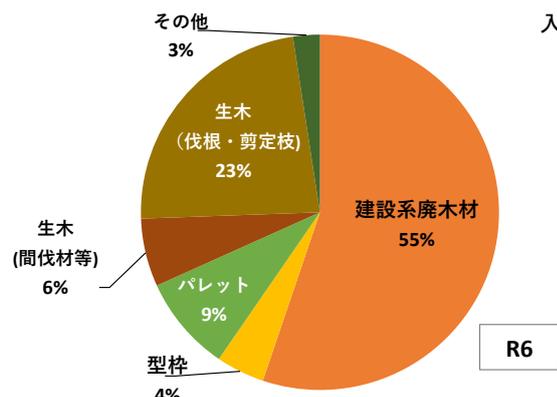
地域協会会員品目別取り扱い量【入荷量】(令和6年度)

単位:千t

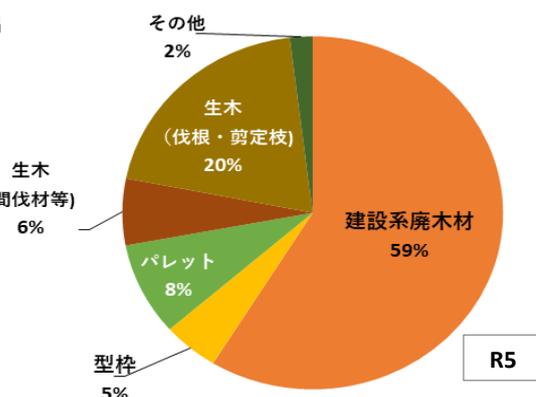
	北日本協会	関東協会	東海協会	近畿協会	中四国協会	九州協会	合計(全国)
有効回答数	54	69	14	10	21	6	174
建設系廃木材	368.8	1,200.3	476.7	338.5	80.7	230.3	2,695.3
型枠	34.0	105.2	33.1	26.2	4.2	11.1	213.8
パレット	55.8	197.9	76.0	54.2	18.2	22.7	424.8
生木(間伐材等)	122.4	78.9	18.0	4.7	54.5	23.8	302.3
生木(伐根・剪定枝)	162.2	658.4	122.9	54.1	48.3	84.9	1,130.8
その他	9.0	98.2	8.2	0.2	2.3	0.5	118.4
合計	752.2	2,338.9	734.9	477.9	208.2	373.3	4,885.4

入荷量より算出

廃木材の品目別取扱割合と前年対比



入荷量より算出



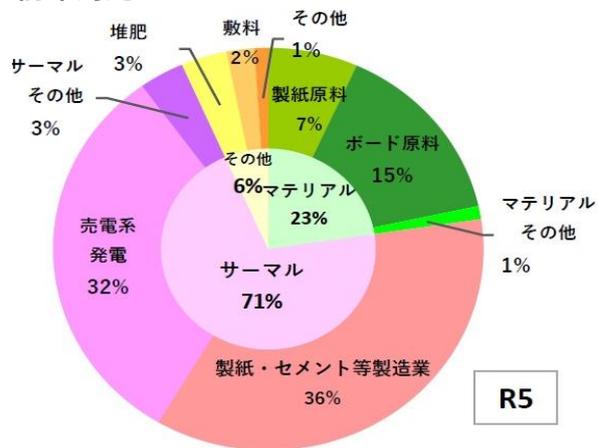
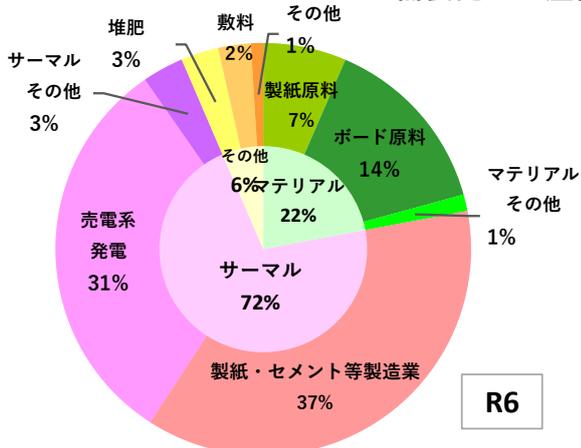
生産割合について(令和6年度)

単位:千t

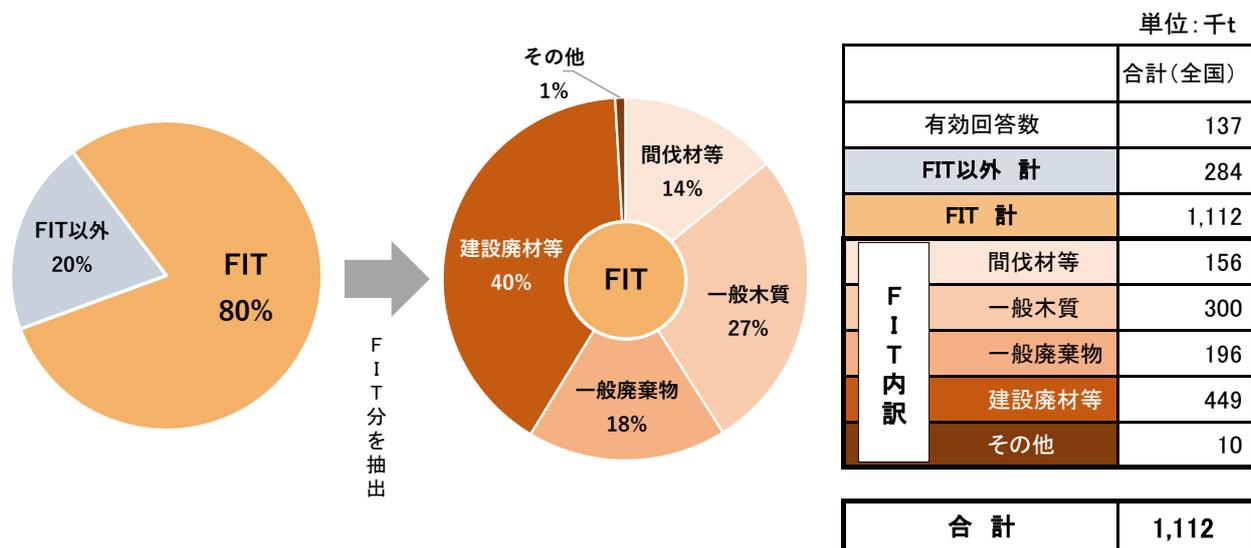
	北日本	関東	東海	近畿	中四国	九州	合計(全国)	
有効回答数	54	69	14	10	21	6	174	
全体量	655.2	2,223.4	722.6	488.0	162.7	380.7	4,632.5	
マテリアル	製紙原料	31.7	73.2	87.3	99.7	7.8	0.0	299.8
	ボード原料	75.3	274.3	64.4	137.1	28.8	80.6	660.6
	その他マテリアル	6.3	3.6	0.5	44.3	1.7	3.7	60.1
サーマル	製紙・セメント等製造業	263.4	871.6	315.6	132.8	19.0	117.5	1,720.0
	売電系発電	180.5	838.3	165.6	64.6	78.1	118.5	1,445.5
	その他サーマル	22.4	12.0	55.9	0.0	12.8	46.0	149.1
その他	堆肥	30.1	75.1	9.0	9.6	11.4	0.5	135.7
	敷料	28.7	73.8	3.6	0.0	0.8	10.7	117.5
	その他	16.8	1.4	20.5	0.0	2.3	3.2	44.2

出荷量より算出

需要先の生産割合と前年対比



## FIT・FIP制度含む売電系発電への販売現況



### 【ユーザーまたは他メーカーへの要望事項】

- 年間を通して、安定的に木質チップの受け入れをしてほしい。
  - チップの引き取り単価の引き上げ(運賃の値上げによるため)。
  - チップの買取価格を上げてください。
  - 単価アップをお願いしたい。
  - 安定的な需要(ストックヤードの確保等)。
  - チップ引き取り単価を上げてもらいたい。
  - 安定した供給ができるよう受け入れ先の安定した稼働、保管ヤードの確保をお願いしたい。
  - サーマル系建廃チップ買取価格の見直しをお願いしたい。
  - 木材チップについて年間を通して安定した受け入れを要望します。
- 電気代・エネルギー代、資材、人件費等の製造コストが上昇しているため、チップ価格のさらなる値上げを要望します。
- 2024年問題からの運搬費高騰及び様々な資材の高騰等から、破碎機のハンマー交換等、諸々のインシヤルコスト、ランニングコストの上昇とチップ単価の改定額の上昇が比例していない。チップ販売単価の更なる改定を求める。
- 安定出荷のため、定修が被る3月・4月・5月の修繕をユーザー間で協議等を行い、対策を行ってほしい。
  - 物価高や社会情勢の影響による燃料費、電気代の高騰に伴い製造原価等も上昇している為、値上げを行ってほしい。
  - ドライバーの待機時間削減のため対策を行ってほしい。

- メーカーとユーザーがお互いに条件等を考慮し、相談の上で運送手段を確保しようと実行してきた数年だったと思います。これからも継続して取り組んでいかなければならないチップや燃料運送の問題だと認識し、素晴らしく良い結果が確認できたメーカーやユーザーに今後の指標となるべく、発表をしていただく機会があれば協会内で勉強したい。
- 木質チップの新たな使用方法(航空燃料SAF等)の情報や知識を協会内で共有し、既存の商流を今後も確保していくことをより一層考えていかなければならないと思うので、メーカー、ユーザーと一緒に議論する機会があれば、と考えています。
- 適正価格、市場あらしのような値下げは規制をかけてほしい。物価が上がっているのに荷物の取り合いになっている。この荒れた市場の沈静化。建築廃材10円/kg超の処理費と制限が欲しいところ。
- 特にセメント系で、セメント生産量が激減していると聞いていますが、昨今の燃料の高騰により、もう少し単価アップをお願いしたいと思っています。
- 製造原価(人件費、燃料代、電気代、部材等)の高騰のため、単価のベースアップ。
- 物価高に伴い、木質チップを値上げしてもらいたい。
- 建廃チップ買取ユーザーは、購入前に現地調査を行い、処理料を大幅に下げているか、適正処理をしているか、また有価買取の場合は荷姿が有価に該当するかを確認していただきたい。

#### 【連合会への要望事項等】

- FIT終了後のバイオマス発電施設における売電価格の下落を防いでほしい。チップが売れなくなる。
- エリアの違うチップ運搬業者との情報交換の場を作ってほしい。
- 業界全体として処理料単価を少しでも上げられるように啓蒙を図っていただきたい。
- 草を一般木質と認定してほしい。
- 搬入業者(建設業関連)、エンドユーザー、両者に対し、処理コストや運送コストが高騰していることを業界として前面に打ち出してほしい。
- 処分業許可を持たない有価買取チップ業者の取引が、違法な処分に該当していないかを啓蒙いただくため、資料等にて継続的に発信していただきたい。

#### 【合板型枠、建設廃木材・果樹剪定枝等の有価取引に係る最新の情報】

- 相場を知りたい。
- バイオマス用として材を入れたいという業者が出てきているが、有価取引には至らない。
- 関東圏内に資材の購入を引き合いに型枠廃材の買取り営業を実施している業者がある。
- 型枠業界では有価引き取り業者利用客が増加している。

- 弊社は産廃処理業者のため、銅線であっても処理費をもらっています。バイオマス燃料の啓蒙により、小型の破砕機・造粒機を購入し社内処理によってチップやペレットを製造して当社に有価買取の依頼の問合せは数件ありましたが、どの事案も持込で2,000円/tの処理費で回答し、契約成立には至っておりません。

FIT認定事業者取扱実績報告(令和6年度)

単位:t

地域	北日本	関東	東海	近畿	中四国	九州	計
期間	R6.4.1～R7.3.31						
事業所数	28	44	7	12	3	23	117
総出荷量	512,932	1,059,324	162,959	137,729	20,751	618,692	2,512,387
うちFIT証明材	291,860	333,745	835	18,715	14,810	282,625	942,590
(間伐材等)	(246,532)	(29,030)	(643)	(0)	(0)	(252,871)	(529,076)
(一般木質)	(45,328)	(304,715)	(192)	(18,715)	(14,810)	(29,754)	(413,514)
※その他	221,072	725,579	162,124	119,014	5,941	336,067	1,569,797
備考							

※その他…FIT証明材以外の材で、建設資材廃棄物や一般廃棄物がある。用途はサーマル利用だけでなくマテリアル利用を含む。

FIT認定事業所実績報告書 出荷量の推移

単位:t

地域	区分	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
北日本	認定事業所数	19	21	21	23	21	23	26	27	28
	総出荷量	82,725	215,178	202,033	198,249	309,252	378,272	412,255	352,123	512,932
	間伐材等	30,123	43,615	61,515	63,137	139,478	157,637	189,895	115,817	246,532
	一般木質	4,112	46,619	46,960	53,285	29,871	35,351	30,985	35,858	45,328
関東	認定事業所数	22	27	33	34	38	40	43	42	44
	総出荷量	675,443	813,861	792,634	755,582	861,999	942,803	1,059,560	970,515	1,059,324
	間伐材等	10,602	8,907	11,224	6,693	7,604	9,973	39,202	30,489	29,030
	一般木質	22,515	34,496	86,343	123,188	169,926	219,894	270,451	276,941	304,715
東海	認定事業所数	5	5	5	5	5	7	7	7	7
	総出荷量	43,714	130,480	114,192	137,613	130,043	176,187	165,609	162,100	162,959
	間伐材等	0	0	0	0	0	235	359	402	643
	一般木質	144	0	0	0	32	74	206	211	192
近畿	認定事業所数	12	13	14	14	14	14	14	14	12
	総出荷量	102,194	121,577	107,942	161,377	139,516	145,301	142,658	131,192	137,729
	間伐材等	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般木質	539	768	3,084	5,207	8,632	13,094	10,049	8,517	18,715
中四国	認定事業所数	1	2	2	2	3	2	2	4	3
	総出荷量	0	0	0	0	9,576	0	0	26,675	20,751
	間伐材等	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般木質	0	0	0	0	0	0	0	0	14,810
九州	認定事業所数	19	19	19	24	24	23	23	24	23
	総出荷量	401,882	448,790	503,049	501,620	578,495	616,652	616,652	586,407	618,692
	間伐材等	69,439	103,830	119,229	121,569	215,849	232,643	232,643	250,789	252,871
	一般木質	52,275	25,292	44,080	39,056	32,085	48,882	48,882	29,048	29,754
合計	認定事業所数	78	87	94	102	105	109	115	118	117
	総出荷量	1,305,958	1,729,886	1,719,850	1,754,441	2,028,881	2,259,215	2,396,734	2,229,012	2,512,387
	間伐材等	110,164	156,352	191,968	191,399	362,931	400,488	462,099	397,497	529,076
	一般木質	79,585	107,174	180,467	220,736	240,546	317,295	360,573	350,575	413,514

※2事業所以下の場合は事業所ごとの実績がわかるため、「0」としている。合計の出荷量にも入れていない

木質バイオマス証明の認定事業者

令和7年12月1日現在

【北日本木材資源リサイクル協会】

認定番号	事業者名	代表者	所在地(事業所)	事業所名	認定日
24 全木リ北 001	やまがたグリーンリサイクル(株)	西村 正	山形県村山市金谷 1224-11		令和6年10月26日
24 全木リ北 002ーGHG	遠野興産(株)	中野 光	宮城県石巻市北村字滝ノ沢 44 - 3	石巻工場	令和7年2月16日
25 全木リ北 001	(株)リンコーコーポレーション	菅原 裕之	新潟県新潟市東区臨海町3丁目4914番地583	木材リサイクルセンター	令和7年4月22日
25 全木リ北 002ーGHG	(有)グリーン総業	熊谷 勝	岩手県一関市藤沢町大籠字天ノ穴 38 番地		令和7年5月15日
25 全木リ北 004	(株)県南チップ	鈴木 隆	山形県南陽市和田西大作 3368-1	南陽工場	令和7年6月25日
27 全木リ北 001	(株)クリーンシステム	鈴木 隆	山形県山形市飯塚町字中河原 1629-5		令和6年4月6日
27 全木リ北 002	ナイスクリーン(株)	石垣 光喜	宮城県仙台市青葉区大倉字山根 16		令和6年5月15日
28 全木リ北 003	ウイル(株)	高橋 貴宏	山形県南陽市萩 3452-7		令和7年5月23日
28 全木リ北 005	(株)アメリカ屋	鈴木 金一	福島県石川郡玉川村南須釜千五沢 196-1	中間処分場	令和7年6月17日
28 全木リ北 006	(株)アメリカ屋	鈴木 金一	福島県石川郡玉川村南須釜小半弓 32-3	チップ工場	令和7年6月17日
28 全木リ北 007	(株)県南チップ	鈴木 隆	山形県米沢市大字三沢字白旗 26100-26	リサイクルステーション	令和7年6月25日
28 全木リ北 011	(株)アールテック	後藤 重信	山形県寒河江市大字日田字中向 400 番地		令和5年3月28日
29 全木リ北 001	(株)源建設	矢澤 源一郎	新潟県上越市吉川区原之町 1856 番地 4		令和5年10月5日
29 全木リ北 002	旭興業(株)	浅野 新一	宮城県加美郡香美町字蓬田 48		令和6年2月7日
30 全木リ北 001	クラッシングセンター(株)	桐生 泰一郎	新潟県南魚沼郡茗荷沢 1472 番地 1		令和6年8月16日
31 全木リ北 001	新潟エコサイクル工業(株)	斉藤 隆	新潟県新潟市西蒲区横戸字新河前 445-3		令和7年5月25日
31 全木リ北 002	(株)村山興業	村山 広幸	新潟県十日町市北新田 132 番地		令和7年7月1日
31 全木リ北 003	三栄産業(株)	西牧 正夫	福島県いわき市南台3丁目1番地の24	リサイクルセンター	令和7年9月1日
03 全木リ北 001	グリーンリサイクル(株)	千葉 政浩	福島県二本松市小沢字 115-28	二本松工場	令和7年3月28日
03 全木リ北 002	グリーンリサイクル(株)	千葉 政浩	岩手県北上市相去町大松沢 1-81	北上工場	令和7年3月28日

04 全木リ北 001	(株)リンクコーポレーション	大内 勝行	福島県福島市大笹生字釜平 3-3	リサイクルエコプラント	令和7年7月25日
04 全木リ北 002	(株)山国	山内 完三	宮城県柴田郡川崎町大字支倉字鍛冶谷山 3-8	支倉プラント	令和7年10月5日
04 全木リ北 003	(株)日本建機	金子 良治	新潟県村上市荒川緑新田 413-24	日本建機エコサイクルステーション	令和7年11月17日
04 全木リ北 004	(株)大橋商会	大橋 崇	新潟県新潟市北区太郎代御城山 787-1	大橋商会東港工場	令和5年3月25日
05 全木リ北 001	(株)ウエステック	五十嵐 敦	福島県喜多方市慶徳町大字豊岡字蛇崩 3514-5		令和5年6月13日
06 全木リ北 001-GHG	(株)中塚工務店	中塚 邦幸	岩手県久慈市枝成沢第 18 地割 127 番地1	リサイクルセンター	令和6年12月10日
07 全木リ北 001-GHG	(株)加藤組	加藤 善典	新潟県村上市天神岡正作 4-2	エコチップ村上	令和7年4月1日

氏名	役職	所属
鈴木 隆	連合会副理事長	(株)クリーンシステム
中野 光	連合会理事 (委員代理)	遠野興産(株)
松本 保		(株)県南チップ
高橋 秀孝	北日本協会事務局	(株)クリーンシステム

#### 【関東木材資源リサイクル協会】

認定番号	事業者名	代表者	所在地 (事業所)	事業所名	認定日
24 全木リ関 002	(株)クワバラ・パンぷキン	桑原 幹夫	埼玉県加須市正能字古宮 2 番 5 外	ほくさいウッドリサイクル	令和6年11月15日
24 全木リ関 003	(株)グーン	藤枝 慎治	横浜市金沢区鳥浜町 17 番地 3	本社工場 本社事務所	令和6年12月11日
24 全木リ関 004	(株)駿河サービス工業	尾崎 光明	神奈川県足柄上郡松田町松田惣領 2655-1	松田工場	令和7年1月23日

24 全木リ関 005	(有)峡南環境サービス	河澄 秋芳	山梨県南アルプス市戸田 916-18	南アルプス総合リサイクルプラント	令和7年3月27日
24 全木リ関 006	(株)清水インダストリー	清水 秀美	群馬県高崎市宮沢町 10-1 群馬県高崎市箕郷町矢原 2180	榛名工場 箕郷支店	令和7年3月4日
24 全木リ関 007	亀井産業(株)	亀井 寿之	埼玉県熊谷市三ヶ尻 4236	熊谷工場	令和7年3月29日
25 全木リ関 001	(株)エコネット	小原 拓也	東京都八王子市犬目町 776	本社工場	令和7年5月23日
25 全木リ関 002	遠野興産とちぎ(株)	中野 光	栃木県那須塩原市鳥野目 330-1	本社工場	令和7年6月24日
25 全木リ関 003	バイオマス・フューエル(株)	黒田 栄作	群馬県館林市大手町 11-13	館林事務所	令和7年9月27日
25 全木リ関 004	フルハシ EPO(株)	山口 直彦	千葉県千葉市中央区浜野町 1216-68	千葉リサイクルランド	令和7年6月10日
25 全木リ関 005	(株)石崎興業	石崎 文治	埼玉県入間市高倉 2-9-39	本社事務所	令和7年8月26日
25 全木リ関 006	(株)オダワラ	小田原 哲	群馬県前橋市泉沢町 1250-6	木材チップ工場	令和7年11月1日
27 全木リ関 001	泉工業(株)	中塚 誠	栃木県佐野市仙波町字瀬戸野 1568-2 他	佐野リサイクルセンター	令和6年8月10日
27 全木リ関 002	(有)エンジニアリングウッド	小野澤厚史	長野県佐久市御馬寄 1132 番地	本社チップ工場	令和6年8月13日
27 全木リ関 003	(株)タケエイ	阿部 光男	千葉県四街道市長岡 272-1	四街道リサイクルセンター	令和6年10月19日
27 全木リ関 004	新エネルギー供給(株)	神島 信	東京都港区浜松町 1-12-11 丸芝ビル 4F	本社事務所	令和7年3月28日
28 全木リ関 002	(株)WR	小林 明	群馬県沼田市岡谷町 1137-1	本社工場	令和7年9月23日
28 全木リ関 004	横浜エコロジー(株)	高橋 義幸	神奈川県横浜市金沢区幸浦 1-4-2	幸浦工場	令和4年12月13日
28 全木リ関 005	(株)タケエイ	阿部 光男	神奈川県川崎市川崎区浮島 10-11	川崎リサイクルセンター	令和5年3月16日
28 全木リ関 006	J & T 環境(株)	長谷場洋之	愛知県名古屋市中村区名駅 3-28-12 大名古屋ビルヂング 30F	名古屋営業所	令和5年3月30日
29 全木リ関 001	勝田環境(株)	望月 福男	茨城県ひたちなか市高野大房地 1967 番地 2	RC 事業部	令和5年4月26日
29 全木リ関 002	(株)エコナビ・リファイン -GHG	鈴木 隆男	宮城県仙台市青葉区本町 2-10-33 第 二日本オフィスビル 8 階	(株)エコナビ・リファイン	令和7年12月1日
29 全木リ関 003	(株)リ・フォレスト	小林 明	群馬県沼田市石墨町 2110-1	本社リサイクル工場	令和6年1月10日
29 全木リ関 004	(有)ケイ運送	小林 計一	群馬県利根郡みなかみ町政所 1059	みなかみ営業所	令和5年10月20日

29 全木リ関 005	(株)神山緑地産業	神山 隆弘	長野県長野市若穂川田字和田 2401-13	(株)神山緑地産業リサイクルセンター	令和6年3月26日
30 全木リ関 001	(有)神辺土建	神辺 智行	埼玉県入間郡毛呂山町大字葛貫字 新田前 1105 番 1、7	毛呂山作業所	令和6年12月6日
30 全木リ関 002	(株)山梨リテック	中澤 朗久	山梨県都留市朝日馬場 2013 番地 1	本社工場	令和6年12月6日
30 全木リ関 003	東栄倉庫(株)	横倉 亨	神奈川県相模原市中央区清新 8-16-1	本社事務所	令和7年1月18日
30 全木リ関 004	ウッドチップサービス(株)	八田 堅嗣	神奈川県相模原市中央区清新 8-16-1	本社事務所	令和7年1月18日
30 全木リ関 005	(株)後藤造園	後藤 誉夫	東京都足立区入谷 7-3-17	グリーンライフ郷	令和7年3月25日
31 全木リ関 001	(株)タケエイグリーンリサイ クル	川島 一弘	神奈川県横須賀市浦郷町 5-2931- 15	横須賀工場	令和7年11月28日
31 全木リ関 002	(株)紳商	茂木 照男	千葉県野田市下三ヶ尾 264-1	紳商リサイクル事業所	令和5年3月2日
02 全木リ関 001	青柳造園(株)	青柳 敬之	栃木県下野市上古山 1371-3	本社リサイクルセンター	令和5年5月1日
02 全木リ関 002	(株)EGL	小島 崇嘉	東京都中央区八丁堀 4-10-4 オーキッドプレイス 8階	本社事務所	令和5年10月20日
02 全木リ関 003	東関リサイクル(株)	南里 岳志	千葉県八街市八街に 292	本社工場	令和5年10月20日
03 全木リ関 001	(株)グリーンチップエナジー	飯塚 裕之	群馬県邑楽郡千代田町赤岩 2931-1	本社事務所	令和6年8月10日
03 全木リ関 002	(株)彰工業	松村 彰彦	栃木県足利市山川町 714-1	本社事務所	令和6年8月10日
04 全木リ関 001	(株)みすゞ工務店	前島 大輔	長野県上田市仁古田 1234-5	MTR プラント	令和7年4月8日
04 全木リ関 002	(株)ヨシザワ	吉澤真理子	栃木県さくら市鷲宿 4534-2	中間処理施設	令和7年10月26日
04 全木リ関 003	(株)藤栄商事	新藤 友啓	埼玉県さいたま市岩槻区大字末田 字上手 2048-2	岩槻リサイクルセンター	令和5年3月3日
06 全木リ関 001	PLANTS PLUS(株)	伊藤 法義	千葉県千葉市若葉区小間子町 1-48	本社工場	令和6年5月30日
06 全木リ関 002	(株)EG 八王子	山口 良治	東京都八王子市石川町 2969-5	本社工場	令和6年10月7日

審査委員

氏名	役職	所属	氏名	役職	所属
山本 大介	連合会監事	住友林業フォレストサ ービス(株)	仁木 智之	関東協会理事	フルハシ EPO(株)

岩瀬 耕二	連合会専務理事		大田 祐太郎	関東協会理事	(株)タケエイ
古敷谷裕二	関東協会理事	(株)グーン	田中 元浩	関東協会	(株)エコグリーン

### 【東海木材資源リサイクル協会】

認定番号	事業者名	代表者	所在地（事業所）	事業所名	認定日
27全木リ東002	(有)八開チップ	飯尾 清女	愛知県愛西市下東川町蔵之段 74 番地		令和6年2月23日
28全木リ東001	(株)アイ・エヌ・ジー	青山 典生	三重県桑名郡木曾岬町和泉 279-1		令和7年1月15日
28全木リ東002	(有)ヤマガネ商事	金安 栄丸	愛知県岡崎市保母町字木崩 1-66		令和7年4月28日
28全木リ東003	(有)松井工業	松井 忠博	愛知県豊橋市牛川町西側 44-1		令和7年11月1日
03全木リ東001	フルハシ EPO(株)	山口 直彦	愛知県半田市日東町 4-53	愛知第七工場(半田)	令和6年7月22日
03全木リ東002	フルハシ EPO(株)	山口 直彦	愛知県弥富市楠 1-118	愛知第二工場(弥富)	令和6年8月17日
03全木リ東003	フルハシ EPO(株)	山口 直彦	岐阜県多治見市笠原町梅平 3992-1	岐阜第一工場(多治見)	令和6年8月17日

### 審査委員

氏名	役職	所属
山口 昭彦	連合会理事	フルハシ EPO(株)
石田 謙治	連合会理事	岐阜代用燃料(株)
戸田 克彦	東海協会副会長(代理)	名古屋港木材倉庫(株)
松井 忠博	東海協会事務局長	(有)松井工業

### 【近畿木材資源リサイクル協会】

認定番号	事業者名	代表者	所在地（事業所）	事業所名	認定日
26全木リ近002	三重中央開発(株)	平井 俊文	三重県伊賀市予野字鉢屋 4713 番地	三重事業所	令和5年11月4日
26全木リ近003	三重中央開発(株)	平井 俊文	京都府木津川市加茂町大畑背谷 38 番地 1	京都事業所	令和5年11月4日

26全木リ近004	大栄環境(株)	金子 文雄	兵庫県三木市口吉川町吉祥寺谷 132-8	三木リサイクルセンター	令和5年11月6日
27全木リ近002	大栄環境(株)	金子 文雄	大阪府和泉市テクノステージ2丁目3-28	和泉リサイクルセンター	令和6年3月12日
27全木リ近004	(有)ReEARTH	林 忠實	京都市伏見区深草神明講谷町4	本社事業所	令和6年4月3日
27全木リ近005	(株)神戸ポートリサイクル	東井 基光	神戸市中央区港島9丁目13	本社事業所	令和6年4月16日
27全木リ近006	和歌山代用燃料(株)	中尾 準一	和歌山市西浜 1660 番地	本社事業所	令和6年11月10日
27全木リ近007	ハリマ産業エコテック(株)	梶原 成郎	姫路市網干区浜田 1223-10	本社事業所	令和6年11月16日
27全木リ近008	(株)ナカミチ建機サービス	有城 功二	三重県南牟婁郡紀宝町神内 1261-2	本社事業所	令和6年11月20日
29全木リ近001	(株)エスケイカンポスト	金森 隆志	滋賀県長浜市泉町 1370 番地	本社事業所	令和5年7月25日
30全木リ近001	中一木材(株)	中永 了之	和歌山県紀の川市北中 386 番地 3	本社事業所	令和6年11月27日
02全木リ近001	DINS 関西(株)	下地 正勝	大阪府堺市西区築港新町四丁2番3号	RAC事業所	令和5年10月21日

審査委員

氏名	役職	所属
正田 博	連合会理事	木材開発(株)
伊藤 幸助	連合会理事	(株)I.T.O
船越 登	近畿協会	関西チップ工業(株)
田渕 茂雄	近畿協会事務局	木材開発(株)

【中四国木材資源リサイクル協会】

認定番号	事業者名	代表者	所在地(事業所)	事業所名	認定日
01全木リ中四001	徳島リサイクル工業(株)	美馬 豊	徳島県美馬市脇町字西赤谷 2351 徳島県阿波市阿波町五明 141-1	工場 本社事務所	令和7年12月1日
02全木リ中四001	(株)アースクリエイト	三好 員弘	岡山県小田郡矢掛町中里山田 99-1	中間処理場	令和6年1月1日
05全木リ中四001	(株)赤碕トランスネット	岡崎 博紀	鳥取県西伯郡大山町石井垣字向山 332-1	木材リサイクルセンター	令和6年3月1日

審査委員

氏名	役職	所属
岡崎 博紀	連合会理事	(株)赤碕トランスネット
片岡 重治	中四国協会監事	(有)片岡久工務店
田中 一正	連合会監事	まるふく商事(株)

### 【九州木材資源リサイクル協会】

認定番号	事業者名	代表者	所在地（事業所）	事業所名	認定日
24 全木リ九 001	中山リサイクル産業(株)	中山 智	福岡県糟屋郡須恵町植木 81-5 大分県大分市大字日吉原 1-33 大分県佐伯郡本匠大字堂ノ間 933-1	須恵工場 大分工場 グリーンパーク本匠	令和6年12月7日
24 全木リ九 002	ホクザイ運輸(株)	河本 一成	福岡県北九州市小倉北区西港町 72-30	本社工場	令和7年1月24日
24 全木リ九 003	(株)中央環境	上田 恭久	長崎県長崎市西海町 2739-4	リサイクルセンターチップ工場	令和7年2月8日
24 全木リ九 004-GHG	(有)九州パーク運輸	林 晃一	福岡県朝倉市杷木星丸 765 番地の 1	添田工場	令和7年3月28日
25 全木リ九 001	中山リサイクル産業(株)	中山 智	福岡県東区箱崎ふ頭 4-13-1 佐賀県嬉野市塩田町大字久間乙 2265	箱崎工場 佐賀工場	令和7年5月1日
26 全木リ九 001	大東商事(株)	小原 英二	熊本県熊本市北区楠野町 453-1	新港リサイクルセンター	令和5年11月17日
27 全木リ九 001	中山リサイクル産業(株)	中山 智	大分県杵築市山香町大字久木野尾 2002-26	グリーンパーク杵築	令和6年4月27日
27 全木リ九 002	(株)山崎紙源センター	山崎 孝一	宮崎県宮崎市江平東町 6 番地 13	都城営業所	令和6年7月1日
27 全木リ九 004-GHG	(有)九州パーク運輸	林 晃一	福岡県朝倉市杷木星丸 765 番地の 1	黒木工場	令和6年12月1日
27 全木リ九 005	有価物回収協業組合石坂グループ	石坂 孝光	熊本県熊本市東区戸島町 2874 番地	本社工場	令和6年12月1日
27 全木リ九 006	(株)土佐屋	岡部龍一郎	鹿児島県鹿児島市宇宿二丁目 9 番 11 号	土佐屋リサイクルセンター	令和6年12月1日
27 全木リ九 007	(株)イワフチ	岩渕 慶太	佐賀県杵島郡江北町大字下山田 3305-1	西日本広域リサイクルプラザ	令和6年12月21日

28 全木リ九 002	(株)エコポート九州	石坂 孝光	熊本県熊本市西区新港 1 丁目 4-10	本社工場	令和 7 年 2 月 1 日
30 全木リ九 001	(株)モリセ	森瀬 幸孝	長崎県雲仙市国見町土黒甲 28-10	モリセリサイクルプラント	令和 6 年 11 月 1 日
31 全木リ九 001	グリーンパーク N&M(株)	河野 秀彦	福岡県朝倉郡筑前町森山 1412 番地 2	筑前工場	令和 7 年 10 月 21 日
02 全木リ九 001	中山リサイクル産業(株)	中山 智	福岡県築上郡築上町大字下香楽 658	グリーンパーク築上	令和 6 年 1 月 11 日
05 全木リ九 001	中山リサイクル産業(株)	中山 智	福岡県うきは市吉井町鷹取 1093-12	うきは工場	令和 5 年 1 月 16 日
05 全木リ九 002	(株)天草・リサイクルセンター	松本 仁	熊本県上天草市松島町今泉 4289 番地	天草・リサイクルセンター	令和 5 年 7 月 1 日
06 全木リ九 001	中山リサイクル産業(株)	中山 智	熊本県水俣市浜松町 57-6	グリーンパーク水俣	令和 6 年 4 月 1 日

審査委員

上田 恭久	連合会理事	中央環境(株)	中山 智	九州協会理事	中山リサイクル産業(株)
小原 隆二	連合会理事	大東商事(株)	河本 一成	九州協会理事	ホクザイ運輸(株)
永利 和隆	九州協会監事	木材開発(株)	河野 秀彦	九州協会事務局	中山リサイクル産業(株)